設定マニュアル

DuraVision®
FDF4627W-IP

カラー液晶モニター

ソフトウェアバージョン 4.1

重要

ご使用前には必ずこの設定マニュアル、操作マニュアルおよびセットアップマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

- 取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

マニュアルの記載内容について

	セットアップマニュアル	使用上の注意、およびネットワークカメラとの接続からカメラの画像を表示するまでの設定について説明しています。
	操作マニュアル	ネットワークカメラやライブ画面のメニューの操作について説明しています。
	設定マニュアル（本書）	ネットワークカメラの登録や機能の設定、モニターのシステム設定について説明しています。

※ ご利用のソフトウェアバージョンの設定マニュアル（本書）および操作マニュアルは、Webサイトから確認できます。PDFファイルを見るには、Adobe Acrobat Readerのインストールが必要です。
http://www.eizo.co.jp/support/db/products/manual/FDF4627W-IP#tab03

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、監視カメラ画像表示用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、当社が指定する電源コードおよび信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

モニターをラックに設置する場合など、周囲（側面、背面、上方）に十分な空間を確保してください。

長時間使用することにより輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（詳細は、操作マニュアルを参照してください。）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはEIZOメンテナンスセンターにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

免責について

当社はいかなる場合も、以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. この製品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的阻害、および被害
2. お客様の誤使用や不注意による損害または破損など
3. お客様による分解、修理または改造がされた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. この製品の故障、不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示できないことで被る不便、損害、被害
5. 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、またはその結果被る不便、損害、被害
6. お客様による監視画像が何らかの理由により公となりまたは使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる損害賠償請求、クレームなど
7. 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

この製品は、カメラで監視している画像を表示できますが、この製品単独で犯罪などを防止するものではありません。

ネットワークに関するお願い

この製品はネットワークへ接続して使用するため、次のような被害を受ける可能性が考えられます。

1. この製品を経由した情報の漏えいや流出
2. 悪意を持った第三者によるこの製品の不正操作
3. 悪意を持った第三者によるこの製品の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、次のような対策を含め、ネットワークセキュリティ施策を十分におこなってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上でこの製品を使用する
- 管理パスワードを定期的に変更する

目次

モニターについて 3

免責について 4

ネットワークに関するお願い 4

目次 5

第 1 章　製品概要 6

1-1.　特長 6

1-2.　システム構成 7

1-3.　対応ネットワークカメラ 7

第 2 章　モニター画面から設定する 8

2-1.　設定の前に 8

2-2.　設定画面について 9

- 基本操作方法 9

2-3.　ネットワークカメラを設定する 11

- ネットワークカメラを自動検出する 11
- ネットワークカメラを手動で登録する 13
- ネットワークカメラの機能を設定する 15

2-4.　カメラ画像の表示位置を設定する 22

2-5.　Smart機能を設定する 23

2-6.　モニターのシステム設定をおこなう 24

2-7.　ユーザー情報を設定する 34

- ユーザー情報を新規に登録する 34
- ユーザー情報を変更する 35
- ユーザー情報を削除する 35

2-8.　操作ログを表示する 36

- ログを表示する 36
- ログデータを保存する 37

第 3 章　Webブラウザから設定する 38

3-1.　設定の前に 38

3-2.　Webコントロール画面について 39

- 基本操作方法 39

3-3.　基本情報 40

- システム情報 40
- システム状態 40
- カメラ・表示位置 / 日時設定 / ネットワーク設定 / 通信設定 41

3-4.　ネットワークカメラを設定する 41

- カメラを自動検出する 42
- カメラ情報の読み出し 44
- カメラ情報の変更 45
- カメラ情報の削除 47
- カメラ情報の保存 47

3-5.　カメラ画像の表示位置を設定する 48

- 表示位置の設定 48
- その他の表示設定 50
- Smart機能の設定 51

3-6.　システム設定をおこなう 52

- 日時設定 52
- ネットワーク設定 55
- 通信設定 56
- その他システム設定 57
- メンテナンス 58

3-7.　ユーザー情報を設定する 61

- ユーザー情報を追加する 61
- ユーザー情報を変更する 62
- ユーザー情報を削除する 62

3-8.　操作ログを表示する 63

- ログを表示する 63
- システムログを表示する 63

3-9.　ライブ画面を設定する 64

- ライブ画面設定 65
- システム状態設定 66

第 4 章　こんなときは 67

4-1.　画面に関する症状 67

4-2.　設定に関する症状 68

第 5 章　ご参考に 69

5-1.　設定項目一覧 69

第 6 章　用語集 74

付録 76

商標 76

ライセンス / 著作権 76

第 1 章　製品概要

この製品は、最大16台のネットワークカメラ※1の画像を表示できるカラー液晶モニターです。
本書では、ネットワークカメラの設定、モニターのシステム設定や仕様について説明します。
設定は、「第 2 章 モニター画面から設定する」（P.8）と「第 3 章 Webブラウザから設定する」（P.38）があります。

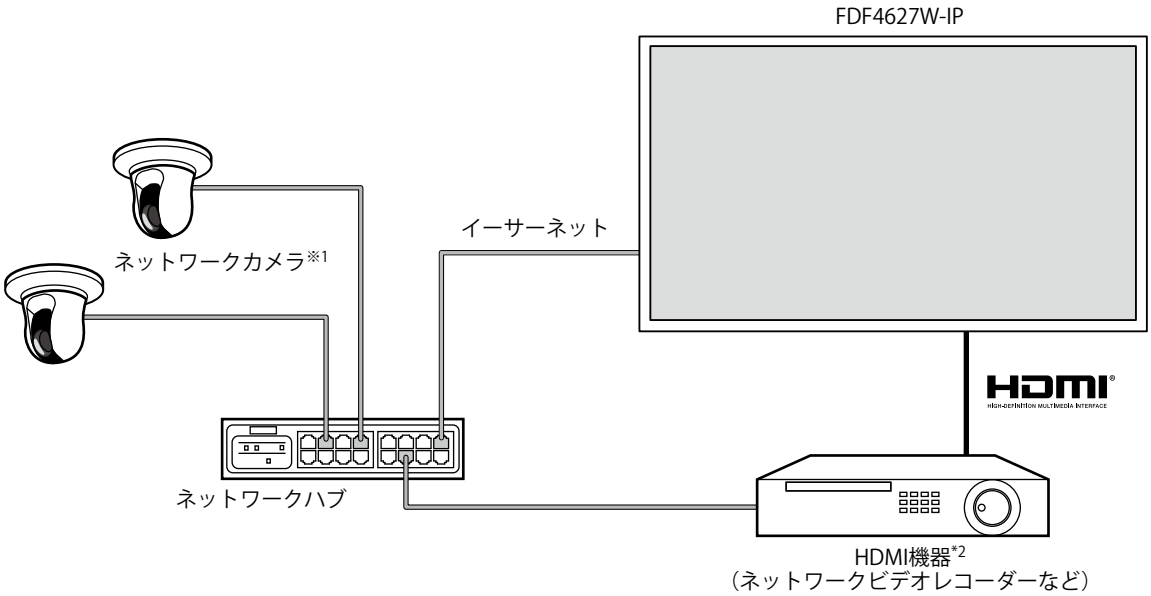
※1　画像をネットワーク信号に変換して伝送するカメラです。

1-1. 特長

- 46.0型ワイド画面
- 解像度1920×1080対応
- 広視野角液晶パネル採用
  VA液晶パネルによる上下178°、左右178°の広視野角を実現
- LEDバックライト液晶パネル搭載
  有害物質である水銀を含有していません。
- ネットワークカメラからの映像信号を入力可能
  - 動画圧縮形式H.264とMJPEGに対応しています。
  - 最大16台のネットワークカメラを登録し、表示することができます。
  - 複数のネットワークカメラの画像（1面、3面、4面、8面、9面、16面）を同時に表示できます。
  - モニター側からネットワークカメラを制御することができます。
  - ユニキャスト方式およびマルチキャスト方式の映像信号を表示することができます。
- 簡単セットアップ機能を搭載
  ウィザード形式でセットアップに必要な設定をおこなうことができます。
- ONVIF Profile Sに対応
- ネットワークカメラメーカーのプロトコルによるカメラ制御に対応
  （パナソニック社製、およびアクシス社製のネットワークカメラを接続した場合）
- 監視カメラの撮影映像に適した表示モード（DAY / NIGHT）を用意
- EIZO独自の「Smart」技術を搭載
  - Smart Resolution（スマートレゾリューション）機能
    画像の解像感を調整することで、ぼやけを改善して鮮やかでクリアな表示にすることができます。
  - Smart Insight（スマートインサイト）機能
    画像を分析し画素ごとに明るさを補正することで、暗くて見えにくい部分を見やすくすることができます。
  - Noise Reduction（ノイズリダクション）機能
    ブロックノイズ（モザイク状の画像の乱れ）を抑えることができます。
- リモコンによる遠隔操作が可能
- Webブラウザによるネットワークカメラの登録やライブ画面の設定が可能
- ネットワークカメラとの通信が途絶えた際に、ライブ画面にアラート表示をおこなうことができます。
- USBストレージデバイスに設定を保存し、読み込むことができます。
- 24時間連続使用で2年間の長期保証

1-2. システム構成

ネットワークカメラと通信をおこない、モニターで動画の表示やネットワークカメラの操作などをおこなうことができます。



※1 ネットワークカメラは最大16台まで登録できます。
※2 HDMI機器（ネットワークビデオレコーダーなど）は、必要に応じてご利用ください。

1-3. 対応ネットワークカメラ

この製品に対応しているネットワークカメラは次のとおりです。

- パナソニック社製 i-pro シリーズ ネットワークカメラ
- アクシス社製ネットワークカメラ
- ONVIF Profile S対応ネットワークカメラ

注意点

- 対応ネットワークカメラは、モニターのソフトウェアバージョンによって異なります。お使いのモニターの、ソフトウェアバージョンを確認したうえで、当社Webサイト（http://www.eizo.co.jp）より対応ネットワークカメラを確認してください。ソフトウェアバージョンの確認方法については、「2-6. モニターのシステム設定をおこなう」（P.24）を参照してください。
- ネットワークカメラの設置、設定については、ネットワークカメラの取扱説明書もあわせて確認してください。

第 2 章　モニター画面から設定する

ネットワークカメラは、モニター画面から設定や操作をすることができます。Webブラウザから設定をおこなう場合は、「第 3 章 Webブラウザから設定する」（P.38）を参照してください。このモニターの操作や設定は、リモコンとUSBマウスのどちらを使用しても操作することができます。USBマウスを使って操作する場合は、モニター背面のUSBダウンストリームポートにマウスを接続します。

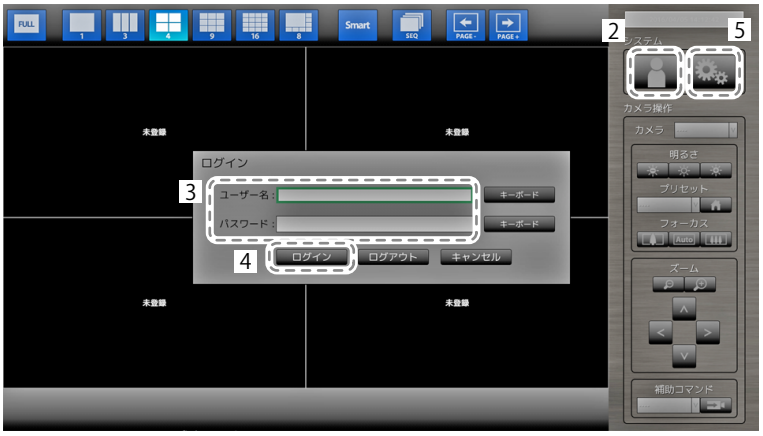
2-1. 設定の前に

モニター画面から設定するには、システムにログインする必要があります。
この製品の設定は、製品にアクセスしているユーザーのレベルが「ADMIN」のときのみ有効です。
上記レベルのユーザーで、システムにログインしてください。

操作方法

1. モニター前面の ⏻ またはリモコンの POWER を押します。
   電源ランプが青色に点灯し、ライブ画面が表示されます。
   （ライブ画面については、操作マニュアルを参照してください。）

2. 「システム」の （ログイン）を選択します。
   ログイン画面が表示されます。



3. ユーザー名とパスワードを入力します。

4. 「ログイン」を選択します。
   ライブ画面に戻ります

5. （設定）を選択します。
   設定画面が表示されます。
   （設定画面については、「2-2. 設定画面について」（P.9）を参照してください。）

参考

- 文字の入力方法は「文字の入力方法」（P.10）を参照してください。
- 初期設定では次のユーザー情報が設定されています。
  - ユーザー名：「admin」
  - パスワード：「admin」
  - ユーザーレベル：「ADMIN」
- ユーザーの設定については、「2-7. ユーザー情報を設定する」（P.34）を参照してください。
- 第三者によるネットワークカメラ操作や設定改ざんを防ぐため、設定終了後ログアウトすることをお勧めします。

注意点

- ログイン中にモニターの電源を切ると、自動的にシステムからログアウトされます。この場合、Webブラウザで表示することはできません。

2-2. 設定画面について

設定画面では、ネットワークカメラの登録やモニターのシステム設定などの各種設定をおこないます。

● 基本操作方法

設定項目一覧　　選択した項目の設定画面が表示されます。

項目	詳細
項目を選択するとき	∧/∨/＜/＞を押します。
選択した項目を決定するとき	ENTERを押します。
設定を変更するとき	**設定ボタンの場合：** ENTERを押します（ズーム、位置調整を除く）。 **リストボックスの場合：** 1. ENTERを押します。 リストボックスが緑色に反転します。 2. ∧または∨で設定を選択します。 3. ENTERを押します。
1つ上の階層に戻るとき	RETURNを押します。 **参考** • 設定中の変更を取り消す場合は、RETURNを押します。
設定画面を終了するとき	1. 設定項目一覧から∨で「終了」を選択します。 2. ENTERを押します。

注意点

• 設定をシステムに適用（登録）しているときは、「設定中」（「登録中」）のメッセージが表示されます。メッセージの表示中はモニターの電源を切らないでください。設定情報が消える恐れがあります。

文字の入力方法

1. ENTER を押します。

   テキストボックスが緑色に反転します。

2. 数字ボタン（0〜9）を押します。

   ボタンを続けて押すと、文字が切り替わります。文字の入力順序は、次の表を参照してください。

ボタン	入力文字								
0	0	-	_	:	.	/	（スペース）		
1	1								
2	a	b	c	A	B	C	2		
3	d	e	f	D	E	F	3		
4	g	h	i	G	H	I	4		
5	j	k	l	J	K	L	5		
6	m	n	o	M	N	O	6		
7	p	q	r	s	P	Q	R	S	7
8	t	u	v	T	U	V	8		
9	w	x	y	z	W	X	Y	Z	9

   次の文字を入力するときは＞を押します。

   文字を削除するときは CLEAR を押します。

3. ENTER を押します。

参考

- ネットワークアドレスの入力方法
  ネットワークアドレスのテキストボックスは、「.」で区切られています。
  - 3桁の数値を入力すると、自動的に次の入力位置に移動します。
  - 2桁や1桁の数値の場合は、＞を押すと次の入力位置に移動します。
- USBマウスを使用している場合
  - 「.」を入力すると次の入力位置に移動します。
  - 文字の入力は、文字入力画面の「キーボード」をクリックします。画面にキーボードが表示されますので、キーをクリックして入力します。

注意点

- 文字入力画面の「キーボード」はリモコンで操作することができません。

2-3. ネットワークカメラを設定する

● ネットワークカメラを自動検出する

ネットワーク上のネットワークカメラを自動的に検出して、システムに登録します。
初回起動時の「簡単設定」後に、ネットワークカメラを追加で接続した場合の設定です。

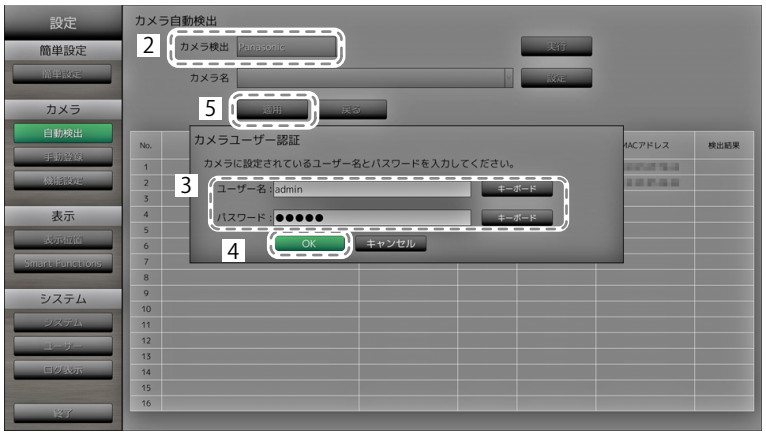
注意点

- ネットワークカメラとモニターが同じサブネット内に設置されたネットワークカメラのみ自動検出できます。異なるサブネット上に設置されている場合は、手動で登録してください（「ネットワークカメラを手動で登録する」（P.13）参照）。
- ネットワークカメラが自動検出されない場合は、「第 4 章 こんなときは」（P.67）を参照してください。
- 「簡単設定」については、セットアップマニュアルを参照してください。

設定方法

1. 「自動検出」を選択します。
2. 「カメラ検出」を選択して ENTER を押します。
3. ∧ または ∨ でカメラ種別を選択して ENTER を押します。
   登録済みのネットワークカメラが表示されます。

4. 「実行」を選択して ENTER を押します。
   ユーザー認証画面が表示されます。



5. ネットワークカメラに設定されている「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
   初期設定では、次の値が入力されています。必要に応じて変更してください。ユーザー名とパスワードについては、システム管理者にお問い合わせください。

   - ユーザー名：「admin」
   - パスワード：「12345」

6. 「OK」を選択してENTERを押します。

「検索中」と表示され、自動検出が始まります。検索が終了すると、検出されたネットワークカメラがリストに追加されます。カメラ検出の検出結果には、次の結果が表示されます。

検出結果	詳細
空白	登録されているネットワークカメラで情報の更新がない、または未接続の場合
新規	未登録のネットワークカメラの場合、または登録済みのネットワークカメラで情報の更新があった場合
重複	IPアドレスが重複したネットワークカメラがある場合

7. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

参考

パナソニック社製ネットワークカメラ

- 新規検出したネットワークカメラの設定を変更することができます。
  「カメラ名」で設定を変更するネットワークカメラを選択して「設定」を選択します。設定画面が表示されますので、各項目を設定してください。設定できる項目はネットワークカメラによって異なります。

- 自動登録した場合は、ネットワークカメラにアクセスするためのストリームとチャンネルが自動的に次の値に設定されます。なお、設定は「手動設定」で変更ができます（「ネットワークカメラを手動で登録する」（P.13）参照）。ネットワークカメラにアクセスするためのユーザー名とパスワードについては、システム管理者にお問い合わせください。

  - ストリーム：「2」
  - チャンネル：「1」
  - RS485 PTZ制御：「オフ」※1

    ※1 「RS485 PTZ制御」は、RS485ケーブルを使用してネットワークカメラに外部機器を接続している場合のみ「オン」にしてください。

アクシス社製ネットワークカメラ

- ユーザー名とパスワードが正しく設定されていない状態で自動検出を実行すると、モデル名には「------」と表記されます。
- ユーザー名とパスワードが正しく設定されているが、検出されたIPアドレスが登録済みのネットワークカメラと重複する場合は、カメラ名には「モデル名 - MACアドレス」、モデル名には「------」と表記されます。

● ネットワークカメラを手動で登録する

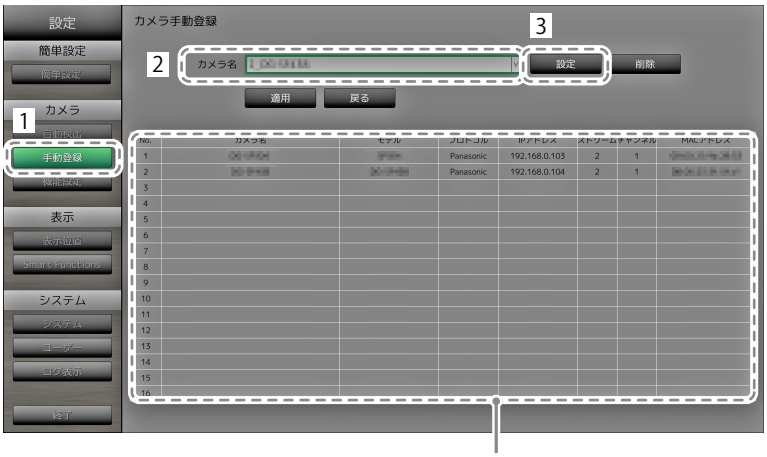
次のような場合は、手動でネットワークカメラを登録します。

- ネットワークカメラがモニターと異なるサブネット上に設置されているとき
- すでに登録されているカメラのネットワーク設定などが変更されたとき
- 複数チャンネルに対応しているビデオエンコーダを登録するとき

設定方法

1. 「手動登録」を選択します。

   現在登録されているネットワークカメラの一覧が表示されます。



登録済みのネットワークカメラが表示されます。

2. 「カメラ名」で設定するネットワークカメラを選択します。

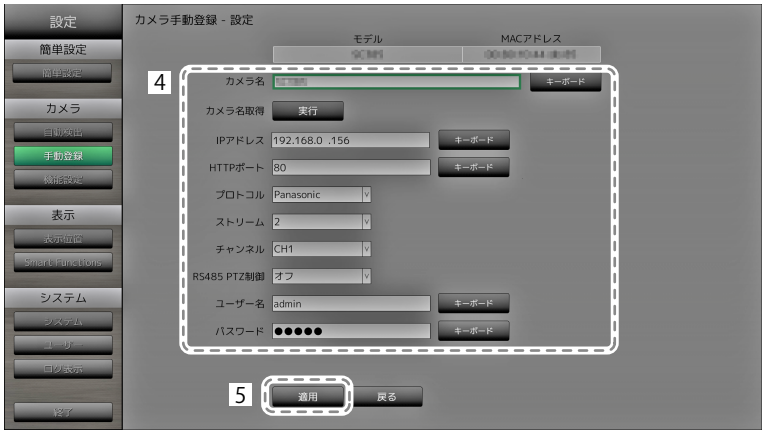
   モニターと異なるサブネット上のネットワークカメラを登録する場合は、ネットワークカメラが設定されていない番号を選択してください。すでに登録されているネットワークカメラの場合は、設定を変更するネットワークカメラを選択してください。

3. 「設定」を選択します。

   ネットワークカメラの設定画面が表示されます。

4. 各項目を設定します。

設定内容については、システム管理者にお問い合わせください。



項目	内容	設定範囲
カメラ名	カメラ名を入力します。カメラ名取得の「実行」を選択すると、ネットワークカメラ側からカメラ名を自動的に取得します。 • パナソニック社製ネットワークカメラ：カメラ名 • アクシス社製ネットワークカメラ：カメラ名 • 「プロトコル」が「ONVIF」のネットワークカメラ：カメラ型番またはメーカー名など	英数字 （24文字まで）
IPアドレス	ネットワークカメラのIPアドレスを入力します。	0.0.0.0 ～255.255.255.255
HTTPポート	ネットワークカメラのHTTPポート番号を入力します。	1～65535
プロトコル	カメラを制御するプロトコルを選択します。	Panasonic / AXIS / ONVIF
ストリーム※1	カメラ画像を配信するストリームを選択します。 接続しているネットワークカメラで対応しているストリームを選択してください。	CH1～CH4
チャンネル※1	アナログエンコーダのチャンネルを選択します。チャンネル機能に対応していないネットワークカメラの場合は、「1」を設定してください。	CH1～CH4
RS485 PTZ制御※1	ネットワークカメラからRS485ケーブル経由で接続している機器に対して、明るさ、フォーカス自動調節、パン、チルト、ズームを制御します。	オン / オフ
ユーザー名、パスワード	ネットワークカメラへアクセスするときに使用するユーザー名とパスワードを入力します。	英数字、記号 （32文字まで）

※1 「プロトコル」が「Panasonic」の場合のみ対応します。

5. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

注意点

- リモコンを使用して設定されている値を変更する場合は、CLEAR を押してから入力してください（詳細は、「文字の入力方法」（P.10）を参照してください）。
- ネットワークカメラによっては、自動検出時と手動登録時で、設定画面に表示される「モデル」の名称が異なる場合があります。
- 「RS485 PTZ制御」は、RS485ケーブルを使用してネットワークカメラに外部機器を接続している場合のみ「オン」にしてください。

参考

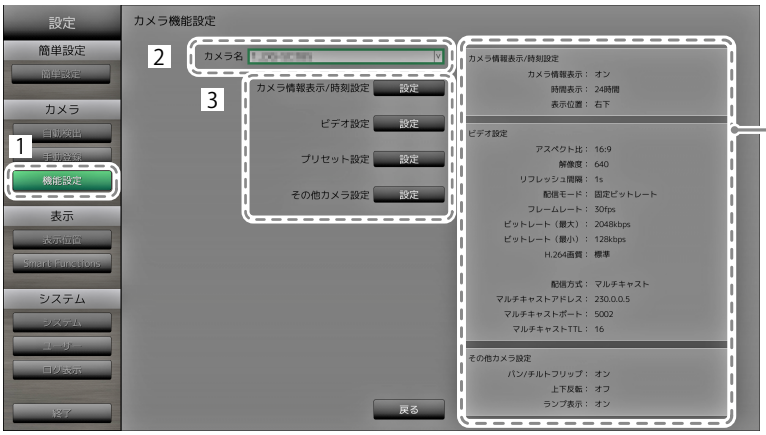
- 手動登録の場合には、カメラのネットワーク設定を変更することはできません。カメラのネットワーク設定を変更する場合は、ネットワークカメラの取扱説明書を確認してください。

● ネットワークカメラの機能を設定する

モニター側からネットワークカメラの機能を設定します。

設定方法

1. 「機能設定」を選択します。



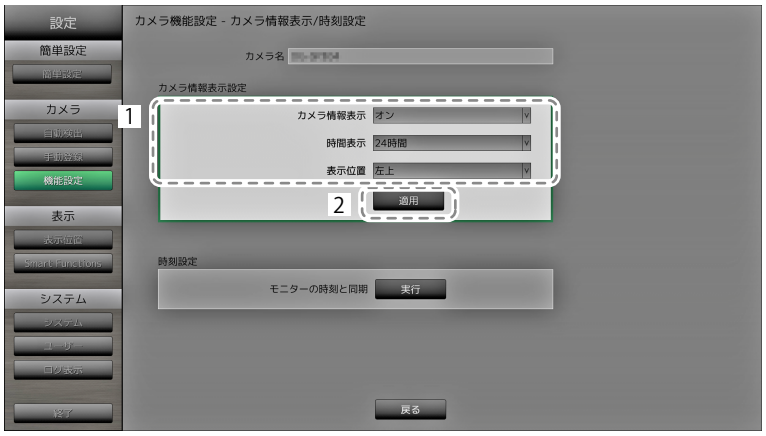
2. 「カメラ名」で設定するネットワークカメラを選択します。
3. 各機能を選択します。
   選択した機能の設定画面が表示されます。

カメラ情報表示

ネットワークカメラ側に設定されているカメラ情報と時刻をカメラ画像上に表示 / 非表示します。

注意点

- 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は、設定できません。



1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
カメラ情報表示	カメラ情報の表示 / 非表示を設定します。	オン / オフ
時間表示	時計の表示 / 非表示を設定します。	12時間 / 24時間 / オフ
表示位置	カメラ情報と時計の表示位置を設定します。	左上 / 右上 / 左下 / 右下

2. 「適用」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

時刻設定

1. ネットワークカメラ側の時刻をモニターの時刻に合わせます。

   「実行」を選択すると、時計が同期します。

ビデオ設定

ネットワークカメラに対して配信画像の画質を設定します。

参考

- この製品は、H.264とMJPEG（ONVIFのみ対応）の動画圧縮方式に対応しています。

注意点

- レコーダなどの機器がネットワークカメラに接続されている場合、それらの機器の録画や表示に影響を与える可能性があります。

パナソニック社製ネットワークカメラの場合

1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
アスペクト比	H.264のアスペクト比（縦横比）を設定します。※1	ネットワークカメラの撮像モード
解像度	H.264の解像度を設定します。	カメラの仕様による
リフレッシュ間隔	H.264画像のリフレッシュ間隔※2を設定します。	0.2秒 / 0.33秒 / 0.5秒 / 1秒 / 2秒 / 3秒 / 4秒 / 5秒
配信モード	H.264画像の配信モードを設定します。	固定ビットレート / フレームレート指定 / ベストエフォート
フレームレート	（配信モードで「フレームレート指定」を選択した場合） H.264画像のフレームレート（画像の更新間隔）を設定します。※3	1fps / 3fps / 5fps / 7.5fps / 10fps / 12fps / 15fps / 20fps / 30fps
ビットレート（最大）	H.264画像の最大ビットレートを設定します。	64kbps / 128kbps / 256kbps / 384kbps / 512kbps / 768kbps / 1024kbps / 1536kbps / 2048kbps / 3072kbps / 4096kbps / 8192kbps
ビットレート（最小）	（配信モードで「ベストエフォート」を選択した場合） H.264画像の最小ビットレートを設定します。	64kbps / 128kbps / 256kbps / 384kbps / 512kbps / 768kbps / 1024kbps / 1536kbps / 2048kbps / 3072kbps / 4096kbps / 8192kbps
H.264画質	（配信モードで「固定ビットレート」または「ベストエフォート」を選択した場合） H.264画像の画質を設定します。	動き優先 / 標準 / 画質優先

※1 「解像度」で「1920」を選択した場合は、アスペクト比は16:9に固定されます。また、ネットワークカメラの「ストリーム」を「1」以外に設定している場合は、アスペクト比を設定できません。

※2 H.264画像は、画面全体のフレームデータと前フレームとの差分データを周期的に送信しています。「リフレッシュ間隔」とは、この画面全体のフレームデータを送信する間隔のことをいいます。この間隔が短いほど画質の安定性は向上しますが、ネットワークの負荷が大きくなります。

※3 間隔が短いほど、画像の更新間隔が短くなめらかな表示になりますが、ネットワークの負荷が大きくなります。

2. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

注意点

- パナソニック社製ネットワークカメラのマルチキャストストリームを表示する場合は、カメラ側でマルチキャストの設定をおこなってください。
- 「アスペクト比」を変更すると、ネットワークカメラの撮像モードが変更されます。撮像モードによっては、他の録画機器や表示機器の画像品質に影響を与える可能性があります。撮像モード変更による影響をご確認の上、設定してください。

アクシス社製ネットワークカメラの場合

1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
ビデオストリーム	ネットワークカメラを表示する画面の表示モードを選択します。	カメラの仕様による
ストリームプロファイル	ネットワークカメラが保持しているプロファイルを選択します。	カメラの仕様による
圧縮形式	圧縮形式を選択します。	H.264（固定）
解像度	H.264画像の解像度を設定します。	カメラの仕様による
フレームレート	H.264画像のフレームレート（画像の更新間隔）を設定します。	カメラの仕様による（最大設定可能値30fps）
回転※1	ネットワークカメラ画像の回転方向を表示します。	カメラの仕様による
GOP長さ	動画のGOP長さを設定します。	Ｉフレーム間隔（H.264選択時のみ）
ビットレート（最大）	H.264画像の最大ビットレートを設定します。	カメラの仕様による（最大設定可能値8192kbps）
優先度	動画圧縮時の優先項目を設定します。	none / framerate / quality
配信方式	アクシスカメラ画像の配信方式を選択します。	ユニキャスト / マルチキャスト
マルチキャストアドレス※2	H.264画像をマルチキャスト配信する際のマルチキャストアドレスを表示します。	224.0.0.0〜239.255.255.255
マルチキャストポート※2	H.264画像をマルチキャスト配信する際のマルチキャストポート番号を表示します。	1024〜65534 偶数のみ
マルチキャストTTL※2	H.264画像をマルチキャスト配信する際のネットワークTTL値を表示します。	カメラの仕様による

※1 回転設定の詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。
※2 「配信方式」に「マルチキャスト」を選択した場合に表示されます。

2. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

注意点

- アクシス社製ネットワークカメラのマルチキャストストリームを表示する場合は、カメラ側でマルチキャストの設定をおこなってください。

ONVIF Profile S対応ネットワークカメラの場合

1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
メディアプロファイル	ONVIF画像のプロファイルを選択します。	EIZO_Profile / 各カメラのプロファイル
エンコーダ	ONVIF画像のエンコーダ設定を選択します。	カメラの仕様による
圧縮形式	ONVIF画像の圧縮形式を選択します。	H.264 / MJPEG
解像度	ONVIF画像の解像度を設定します。	カメラの仕様による
フレームレート	ONVIF画像のフレームレート（画像の更新間隔）を設定します。	1～30 fps
エンコード間隔	ONVIF画像のエンコードの間隔を設定します。	カメラの仕様による
ビットレート（最大）	ONVIF画像の最大ビットレートを設定します。	0～8192 kbps
映像品質	ONVIF画像の画質を設定します。数値が大きいほど高画質になります。	カメラの仕様による
GOV長さ※1	ONVIF画像のIフレーム間隔を設定します。	カメラの仕様による
H.264プロファイル※1	H.264規格のプロファイルを選択します。	ベースライン / メイン / 拡張 / ハイ
配信方式	ONVIF画像の配信方式を選択します。	ユニキャスト / マルチキャスト
マルチキャストアドレス※2	ONVIF画像をマルチキャスト配信する際のマルチキャストアドレスを設定します。	224.0.0.0～239.255.255.255
マルチキャストポート※2	ONVIF画像をマルチキャスト配信する際のマルチキャストポート番号を設定します。	1024～65534 偶数のみ
マルチキャストTTL※2	ONVIF画像をマルチキャスト配信する際のネットワークTTL値を設定します。	カメラの仕様による

※1 「圧縮形式」に「H.264」を選択した場合に表示されます。
※2 「配信方式」に「マルチキャスト」を選択した場合に表示されます。

2. 「適用」を選択します。

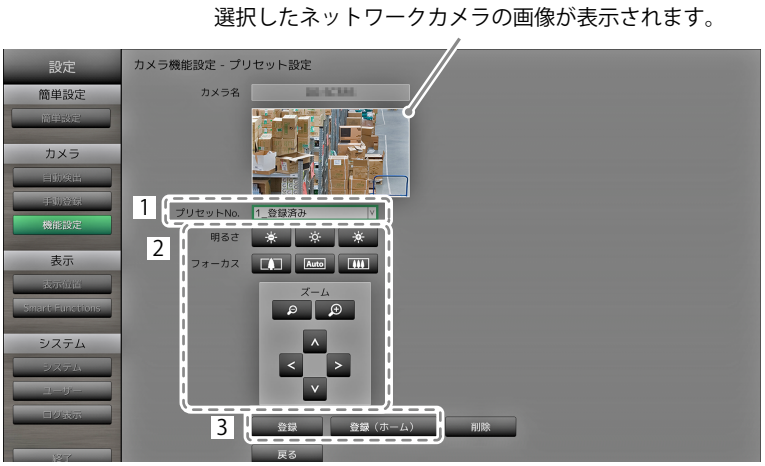
設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

注意点

- ネットワークカメラによっては、設定した値が反映されない場合があります。カメラの仕様を確認してください。
- 解像度など画質設定を変更すると、同じ「エンコーダ」を使用している他の録画機器や表示機器の画質に影響を与える可能性があります。画質設定の変更による影響をご確認の上、設定してください。

プリセット設定

ネットワークカメラの撮影位置や調整状態をあらかじめ設定します。



1. 「プリセットNo.」で設定する番号（1～256）を選択します。
2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
明るさ	ネットワークカメラの明るさを調整します。	カメラの仕様による
フォーカス	ネットワークカメラの焦点を調節します。	カメラの仕様による
ズーム	ネットワークカメラの表示倍率を調節します。	カメラの仕様による
ポジション	ネットワークカメラの撮影位置（パン、チルト）を調節します。	カメラの仕様による

3. 選択した番号をホームポジションとして登録する場合は、「登録（ホーム）」を、それ以外の場合は「登録」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

注意点

- 「プロトコル」が「AXIS」のネットワークカメラの場合は設定できません。カメラ側でプリセット設定をおこなってください。
- お使いのネットワークカメラによっては、設定できない機能があります。
- お使いのネットワークカメラによっては、明るさやフォーカスの設定は登録できません。

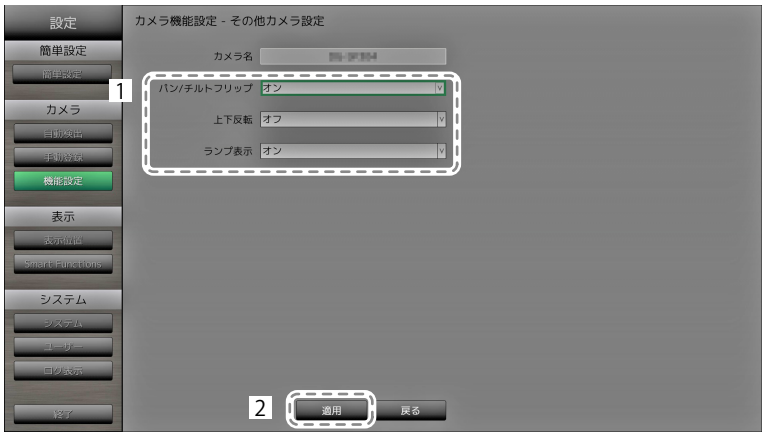
参考

- 設定を登録すると、プリセットNo.の番号の表示が「未登録」から、「ホーム」または「登録済み」に変わります。
- 設定を取り消すときは、プリセットNo.で取り消したい番号を選択して「削除」を選択してください。番号に設定されていた内容が削除され、未登録の状態に戻ります。

その他カメラ設定

注意点

- 「プロトコル」が「ONVIF」、「AXIS」のネットワークカメラの場合は設定できません。



1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
パン / チルトフリップ	パン / チルトフリップ機能※1をオン / オフします。	オン / オフ
上下反転※2	ネットワークカメラの上下反転を設定します。	オン / オフ
ランプ表示	ネットワークカメラのランプを点灯 / 消灯します。	オン / オフ

※1 パン / チルトフリップとは、ネットワークカメラが端点に到達すると、自動的に高速反転する機能のことです。端点を意識することなくパン、チルト操作ができます。

※2 上下反転機能は、ネットワークカメラの設置仕様を確認の上、使用してください。ネットワークカメラによっては、上下反転機能に対応していても、逆さに設置できない場合があります。

2. 「適用」を選択します。

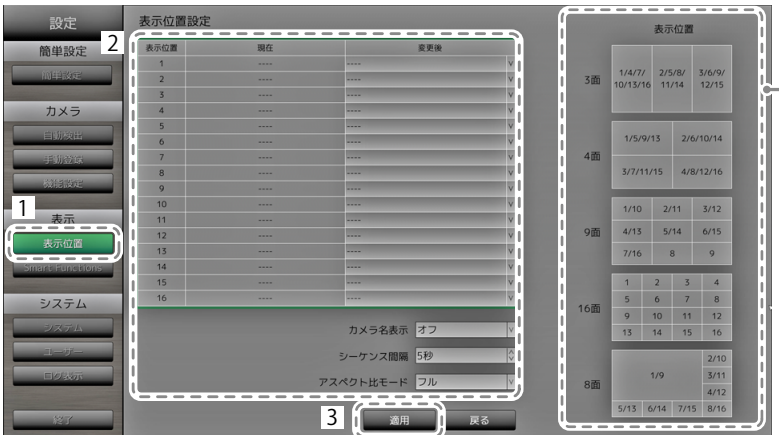
設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

2-4. カメラ画像の表示位置を設定する

ネットワークカメラの画像を表示する位置を設定します。

設定方法

1. 「表示位置」を選択します。



モニター画面の表示位置を示しています。

2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
表示位置	カメラ画像を表示する位置を選択します。 表示したい位置の番号に、ネットワークカメラを設定します。	ー
カメラ名表示	モニター側に設定されているカメラ名を表示 / 非表示します。（カメラ名は画像の左上に表示されます。）	オン / オフ
シーケンス間隔	シーケンス表示時に画面が切り替わる間隔を設定します。	5秒～60秒
アスペクト比モード	ネットワークカメラから配信される動画のアスペクト比とモニターの画像表示エリアのアスペクト比が異なる場合に優先する方を設定します。	フル / アスペクト

3. 「適用」を選択します。

   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

注意点

- 登録しているすべてのネットワークカメラを設定する必要があります。また、同じネットワークカメラを2箇所以上に設定することはできません。正しく設定されていないと、「適用」を選択することができません。
- 画面レイアウトを3面表示する場合
  - アクシス社製ネットワークカメラのみ、画像比率を保つ縦長の画像を表示します。画像を表示する場合はネットワークカメラの設定が必要です。設定の詳細は、ネットワークカメラの取扱説明書を参照してください。

参考

- シーケンス表示中に画像の表示に時間がかかる場合は、「シーケンス間隔」を長くしてください。

2-5. Smart機能を設定する

各カメラ画像に対して、Smart機能の設定をおこないます。

設定方法

1. 「Smart Functions」を選択します。

2. 「カメラ名」で設定するネットワークカメラを選択します。

注意点

- 画面レイアウトが1面、4面の場合は、各ネットワークカメラの設定が適用されます。画面レイアウトが3面、8面、9面、16面の場合は、すべての画面に「17_全画面」の設定が適用され、各ネットワークカメラの設定は適用されません。

3. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
モード	選択したネットワークカメラの画像に適用する表示モードを選択します。 「DAY」にすると、一般的な画像に適したモードになります。 「NIGHT」にすると、撮影画像が夜間のようなモノクロの場合に適したモードになります。	DAY / NIGHT / オフ
Smart Resolution	画像の解像感を調整します。ぼやけを改善し、鮮やかでクリアな表示にすることができます。	1～5 / オフ
Smart Insight	画像を分析し画素ごとに明るさを補正することで、暗くて見えにくい部分を見やすくすることができます。暗い部分が見えにくい画像や、明るい環境でモニターを使用するときなどに利用すると効果的です。	1～5 / オフ
Noise Reduction	ブロックノイズ（モザイク状の画像の乱れ）を抑えることができます。	オン / オフ

4. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

2-6. モニターのシステム設定をおこなう

この製品の日付や時刻、ネットワーク情報などを設定します。

設定方法

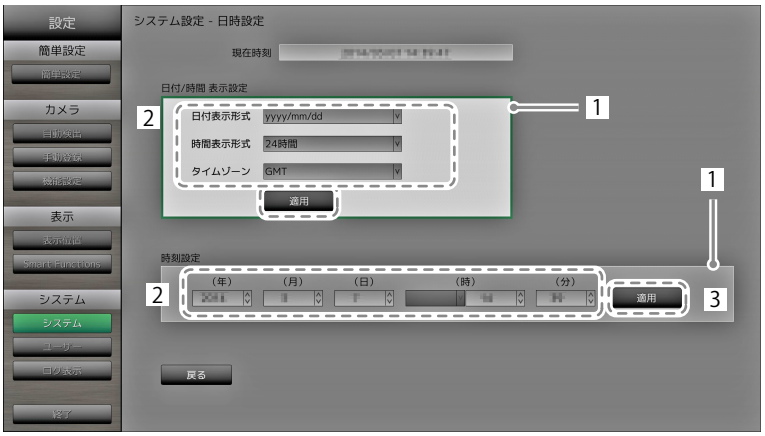
1. 「システム」を選択します。

現在の設定値を表示しています。（ソフトウェアバージョンなど）

2. 各設定を選択します。
   選択した設定の設定画面が表示されます。

日時設定

現在の日付と時刻を設定します。



1. 「日付/時間 表示設定」または「時刻設定」を選択します。
2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲	
日付/時間 表示設定	日付の表示形式、時間の表示形式、およびタイムゾーン（GMT※1との時差）を設定します。	日付表示形式	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy
		時間表示形式	24時間 / 12時間
		タイムゾーン	GMT-12:00～GMT+14:00
時刻設定	現在の時刻を設定します。	2010/1/1 0:00～2035/12/31 23:59	

※1 グリニッジ標準時間

3. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

注意点

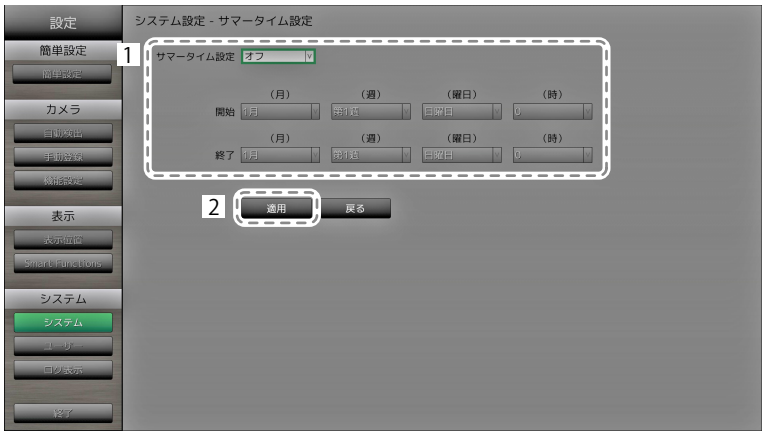
- タイムゾーンは販売地域によって異なります。必ず設定してください。
- タイムゾーンを変更した場合は、サマータイムの設定が「オフ」に変更されます（詳細は、次の項「サマータイム設定」（P.25）を参照してください）。

参考

- 1週間以上主電源スイッチを切る、または電源コードを電源コンセントに接続していないときは、モニターの日付と時間が正確に表示されなくなります。その場合は、日時を設定し直してください。

サマータイム設定

サマータイムの適用 / 解除を設定します。



1. 各項目を設定します。

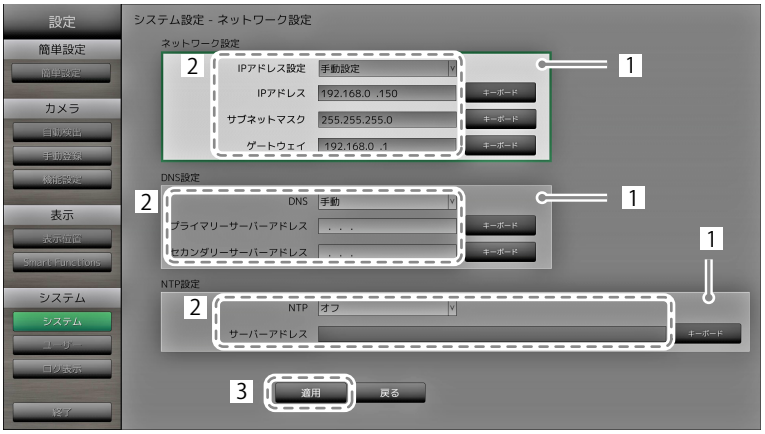
項目	内容	設定範囲
サマータイム設定	サマータイムを適用 / 解除します。 「オン」にすると、直ちにサマータイムを適用した時間で時刻を表示します。 「オフ」にすると、サマータイムは適用されません。 「自動」にすると、開始 / 終了で指定された期間、サマータイムを適用します。	オン / オフ / 自動

2. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

ネットワーク設定

ネットワーク情報を設定します。



1. 「ネットワーク設定」「DNS設定」「NTP設定」を選択します。
2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲	
ネットワーク設定	IPアドレス設定を選択します。	IPアドレス設定	DHCP / 手動設定
	「手動設定」を選択した場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定してください。	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ※1	0.0.0.0～255.255.255.255
DNS設定	DNSを設定します。（「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」で「手動」に設定した場合）	DNS	自動 / 手動
	「手動」を選択した場合は、プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレスを設定してください。	プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255
NTP設定	NTPサーバーを利用する / しないを設定します。	NTP	オン / オフ
	「オン」を選択した場合は、NTPサーバーのアドレスを設定してください。	サーバーアドレス	英数字、記号

※1 ゲートウェイがない環境の場合は、「ゲートウェイ」を設定する必要はありません。初期設定のままとするか、「0.0.0.0」を設定してください。

3. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

通信設定

Webインターフェイス機能や通信エラーの検知を設定します。

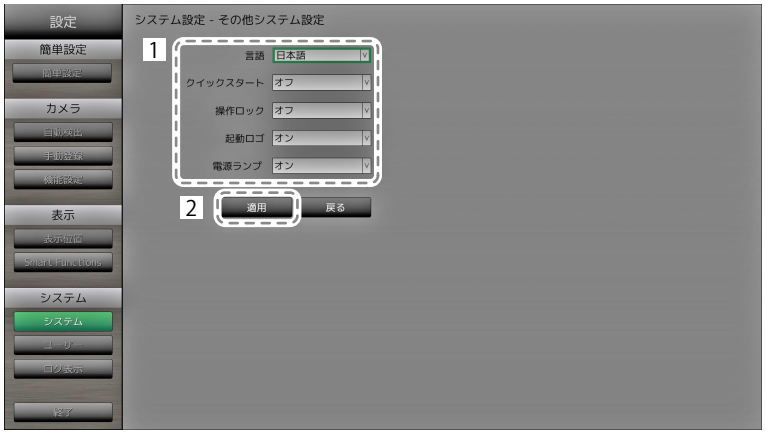
1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
通信速度	モニターとネットワークハブ間の通信速度を設定します。	100Mbps 半二重、 100Mbps 全二重、 1000Mbps 全二重
通信エラー検知	画像データの受信が停止した場合のメッセージ表示として、次の設定がおこなえます。 通信エラー検知オン： 画像データの受信が停止後の数秒以内に、ライブ画面上に赤枠のアラートメッセージが表示されます。通信が再開するとアラート表示が解除され、再度動画が表示されます。 通信エラー検知オフ： 画像データの受信が停止してから約20秒経過後、通信エラーのメッセージが表示されます。	オン / オフ
Webインターフェイス	ネットワークを経由して、Webブラウザからモニターの操作や設定を可能にします。	オン / オフ
Webインターフェイスポート	Webインターフェイスのポートを設定します。	1〜65535

2. 「適用」を選択します。

   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

その他システム設定



1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
言語	メニューおよび設定画面の表示言語を設定します。	日本語 / English / Deutsch
クイックスタート	電源オフ時の状態を設定します。 「オン」にすると、システムの一部が起動したままとなります。 「オフ」にすると、システムが完全に終了します。 「オン」に設定すると、この製品の起動時間を早くすることができます（約10秒間）。ただし、システムが完全に終了していませんので、「オン」に設定されている場合は、モニターの主電源を切らないでください。	オン / オフ
操作ロック	モニター前面のボタンでの操作をロックします。	オン / オフ
起動ロゴ	電源オン時のEIZOロゴの表示 / 非表示を切り替えます※1。	オン / オフ
電源ランプ	画面表示時の電源ランプ（青）の点灯 / 消灯を切り替えます。	オン / オフ

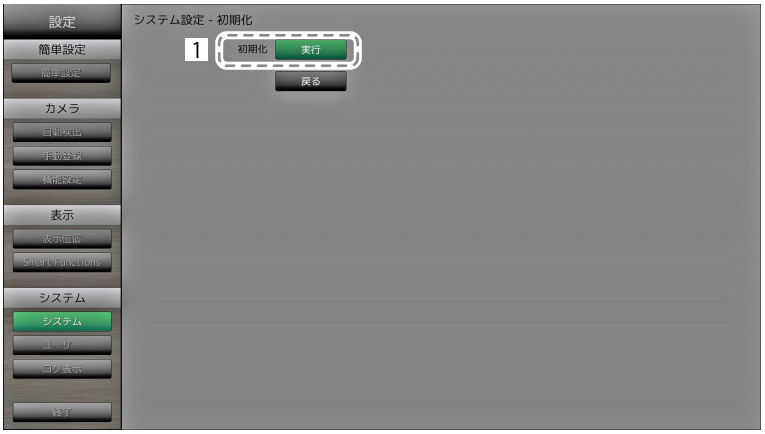
※1 システム起動中を示す回転バーを非表示にすることはできません。

2. 「適用」を選択します。

設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

初期化

システムを初期化します。



1. 「初期化」の「実行」を選択します。
   システムログ、操作ログ、現在時刻、タイムゾーン、サマータイム設定以外の設定が初期設定に戻ります。

再起動

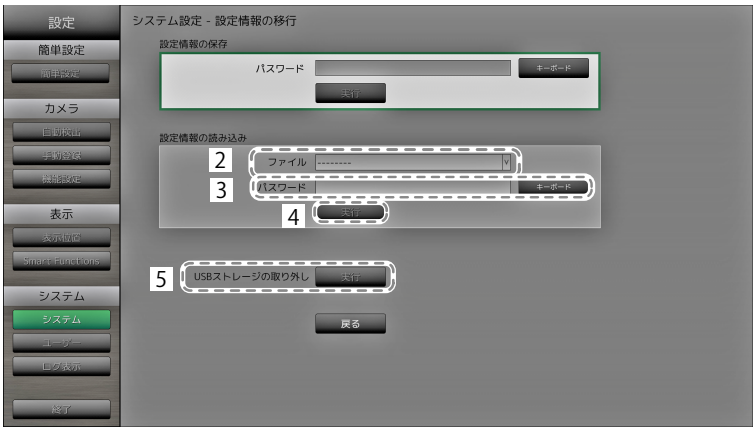
システムを再起動します。

1. 「再起動」の「実行」を選択します。

設定情報の移行

設定情報をUSBストレージデバイスに保存し、読み込むことができます。

設定情報の読み込み



1. モニターのUSBダウンストリームポートにUSBストレージデバイスを接続します。
2. 設定情報ファイルを選択します。
3. パスワードを入力します。
   初期設定では、パスワードは空白です。必要に応じてパスワードを設定します。
4. 「実行」を選択します。設定情報が読み込まれます。
5. 「USBストレージの取り外し」の「実行」を選択します。
   取り外し完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

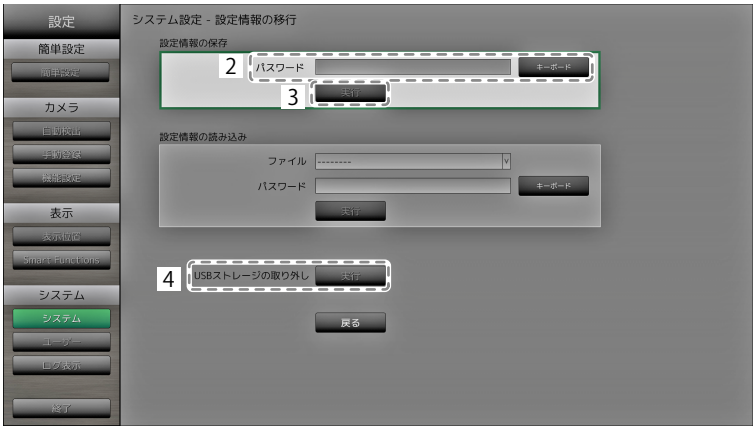
6. USBストレージデバイスを取り外します。

注意点

- 設定情報には、モニター本体のIPアドレスも含まれています。別のモニターの設定情報を読み込んだ場合は、モニターのIPアドレスを変更してください。

設定情報の保存

1. モニターのUSBダウンストリームポートにUSBストレージデバイスを接続します。



2. パスワードを入力します。

   初期設定では、パスワードは空白です。必要に応じてパスワードを設定します。

3. 「実行」を選択します。設定情報が保存されます。

4. 「USBストレージの取り外し」の「実行」を選択します。

   取り外し完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

5. USBストレージデバイスを取り外します。

注意点

- 一部の設定は保存できません。
- 保存時に指定したパスワードを忘れてしまった場合、設定を読み込むことができなくなります。

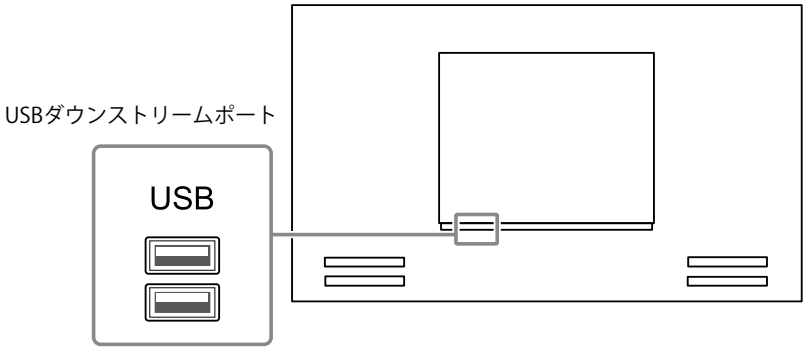
参考

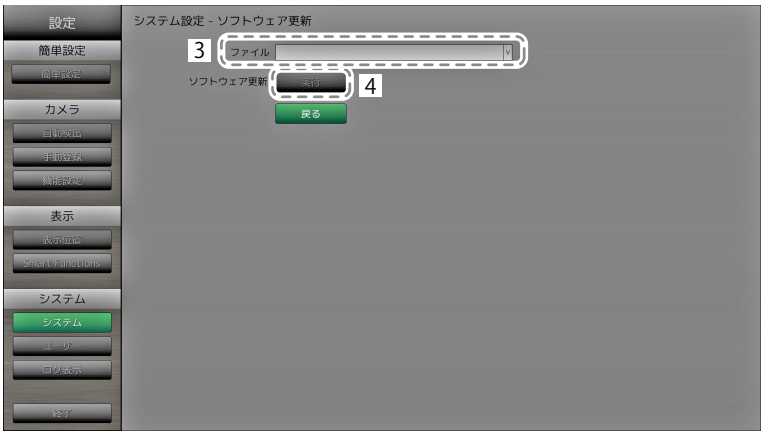
- 保存ファイル名：Backupyyyymmdd.duraconf（yyyymmddは保存日付）

ソフトウェア更新

ファイル選択画面から更新用のファイルを選択することができ、バージョンアップ、バージョンダウンともにソフトウェアの更新ができます。

1. 当社Webサイト（http://www.eizo.co.jp）からアップデートファイルをダウンロードし、USBストレージデバイスに保存します。
2. モニターのUSBダウンストリームポートにUSBストレージデバイスを接続します。
   ファイル選択画面が表示されます。





3. 更新ファイルを選択します。
4. 「実行」を選択します。
5. 「ソフトウェアを更新するにはシステムを再起動する必要があります。USBストレージを取り外して再起動してください。」のメッセージが表示されます。
   USBストレージデバイスを取り外します。
6. 「再起動」を選択し、システムを再起動します。
   ソフトウェアが更新されます。

注意点

- ソフトウェア更新中は電源を切らないでください。
- ソフトウェア更新中は、モニター前面のSIGNAL、POWER、およびリモコンは操作できません。
- この製品で使用できるUSBストレージデバイスは次のとおりです（すべてのUSBストレージデバイスの動作を保証するものではありません）。
  - USB 2.0に準拠したUSBメモリー
  - 対応フォーマット：FAT32
- 複数のUSBストレージデバイスを同時に接続しないでください。

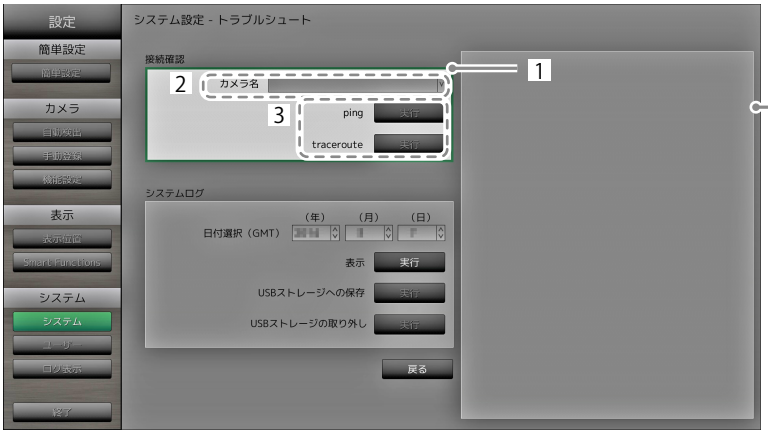
参考

- 再起動すると、ソフトウェア更新の成否を示すメッセージが表示されます。「OK」を選択しないときは、メッセージが表示された後に60秒が経過すると、自動的に消えます。ただしWebブラウザからソフトウェアの更新をする場合は、このメッセージは表示されません。

トラブルシュート

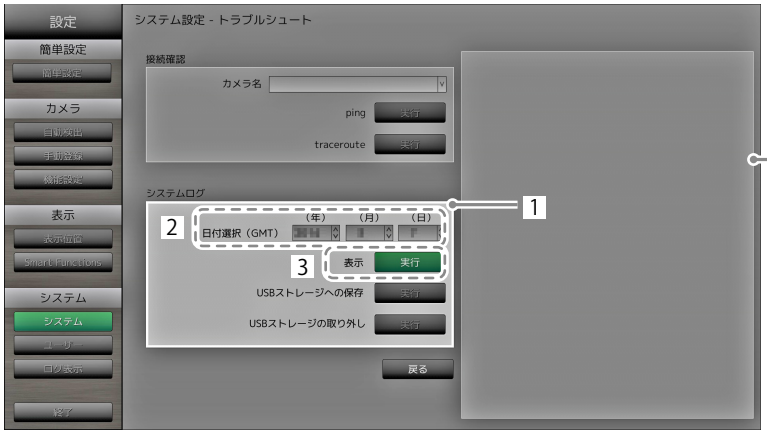
ネットワークカメラと接続ができなかったり、通信エラーが発生するなど、製品が正常に動作しない場合に利用します。通信コマンドを使用してネットワークの状態を確認したり、システムのログを表示して過去のエラー内容を確認できます。また、システムのログデータをUSBストレージデバイスに保存することもできます。

ネットワークの接続状態を確認する



1. 「接続確認」を選択します。
2. 「カメラ名」でネットワークの状態を確認するネットワークカメラを選択します。
3. 「ping」または「traceroute」の「実行」を選択します。
   右側のエリアに確認結果が表示されます。

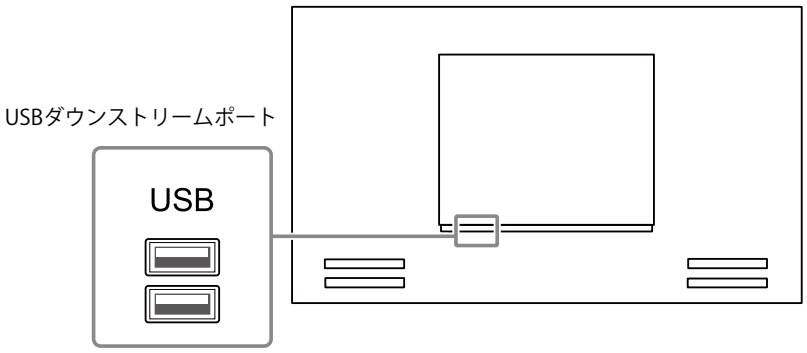
システムログを表示する

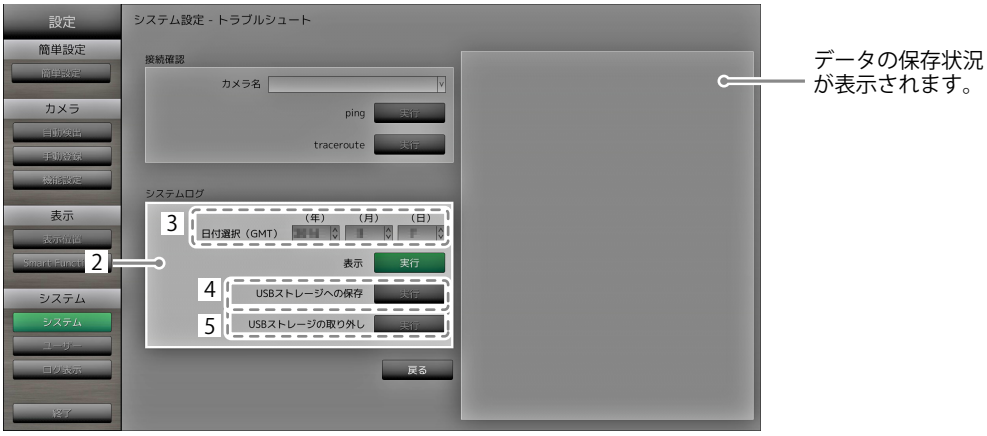


1. 「システムログ」を選択します。
2. ログを表示する日付（年、月、日）を選択します。
3. 「表示」の「実行」を選択します。
   右側のエリアにログが表示されます。

システムログデータを保存する

1. モニター背面のUSBダウンストリームポートにUSBストレージデバイスを接続します。





2. 「システムログ」を選択します。
3. データを保存する日付（年、月、日）を選択します。
4. 「USBストレージへの保存」の「実行」を選択します。
   データの保存が開始され、右側の表示エリアに「保存中」と表示されます。
   保存完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。
5. 「USBストレージの取り外し」の「実行」を選択します。
   取り外し完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。
6. USBストレージデバイスを取り外します。

注意点

- この製品で使用できるUSBストレージデバイスは次のとおりです（すべてのUSBストレージデバイスの動作を保証するものではありません）。
  - USB 2.0に準拠したUSBメモリー
  - 対応フォーマット：FAT32
- 複数のUSBストレージデバイスを同時に接続しないでください。

2-7. ユーザー情報を設定する

この製品にアクセスするユーザー情報（ユーザー名、ユーザーレベル、パスワード）を登録、変更、削除します。

注意点

- ユーザー情報は10名まで登録できます。10名を超えると、新規にユーザー情報を登録することはできません。
- 登録済みユーザーと同じユーザー名の場合は登録できません。
- ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーを最低1名以上登録する必要があります。
- ユーザー名は「:」を含めない半角英数文字を登録してください。

参考

- ユーザーレベルには「LIVE」、「CAMERA CONTROL」および「ADMIN」があります。それぞれのレベルでこの製品を操作できる範囲が異なります。

（○：操作可、-：操作不可）

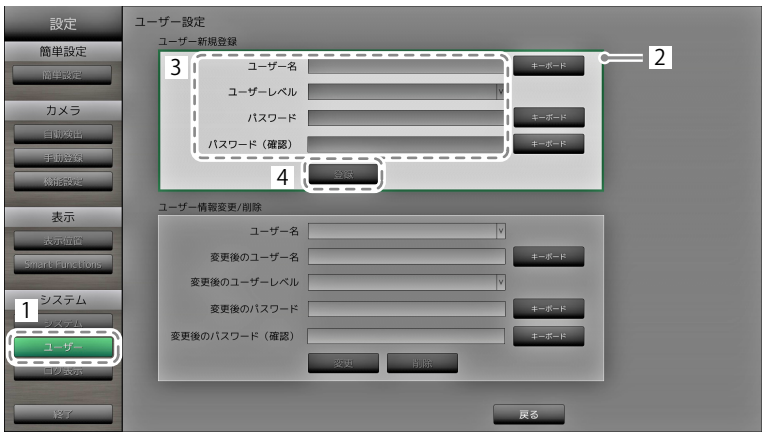
操作 / レベル	メニュー表示	レイアウト変更	画面切り替え	Smart機能切り替え	ログイン操作	カメラ操作	システム設定
LIVE	○	○	○	○	○	-	-
CAMERA CONTROL	○	○	○	○	○	○	-
ADMIN	○	○	○	○	○	○	○

- ユーザー情報の初期設定は次のとおりです。
  - ユーザー名：「admin」
  - パスワード：「admin」
  - ユーザーレベル：「ADMIN」
- 次の手順で、ユーザー情報を初期設定に戻すこともできます。登録したユーザー情報を忘れてしまった場合などにご利用ください。
  1. リモコンのPOWERを押して、モニターの電源を切ります。
  2. リモコンのボタンを次の順序で押します（ボタンを押す間隔は5秒以内）。
     ＜→＜→＞→＞→∧→∧→POWER
     リセット確認画面が表示されますので「実行」を選択してください。
     ユーザー情報がリセットされ、初期設定に戻ります。

● ユーザー情報を新規に登録する

設定方法

1. 「ユーザー」を選択します。

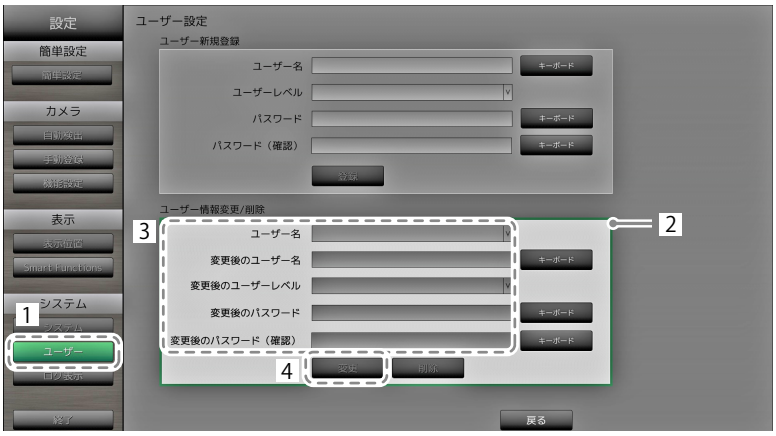


2. 「ユーザー新規登録」を選択します。
3. ユーザー情報を設定します。
4. 「登録」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

● ユーザー情報を変更する

設定方法

1. 「ユーザー」を選択します。

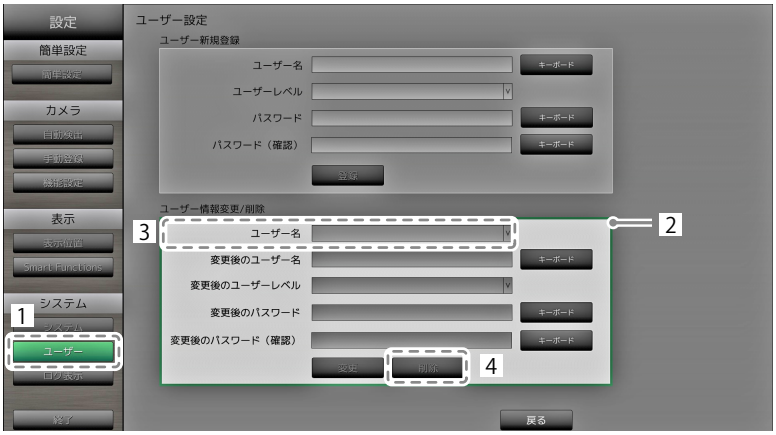


2. 「ユーザー情報変更/削除」を選択します。
3. ユーザー情報を設定します。
4. 「変更」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

● ユーザー情報を削除する

設定方法

1. 「ユーザー」を選択します。



2. 「ユーザー情報変更/削除」を選択します。
3. ユーザー名で削除するユーザーを選択します。
4. 「削除」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

2-8. 操作ログを表示する

この製品への操作はログに記録されています。ログを表示して、過去の操作結果を確認できます。また、ログデータをUSBストレージデバイスに保存することもできます。

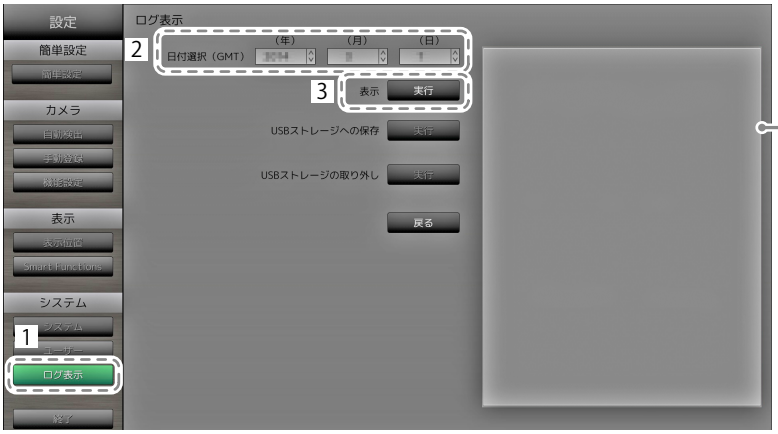
参考

- ログに記録される情報は次のとおりです。
  - ログイン情報：システムにログインしたユーザー名
  - カメラ操作の結果：操作したカメラ名、操作した内容、操作の結果
  - 各設定画面で「適用」を選択して決定したときの日時と変更内容
- 毎月1日の午前4時0分0秒に、2か月前までのログが自動的に消去されます。

● ログを表示する

表示方法

1. 「ログ表示」を選択します。



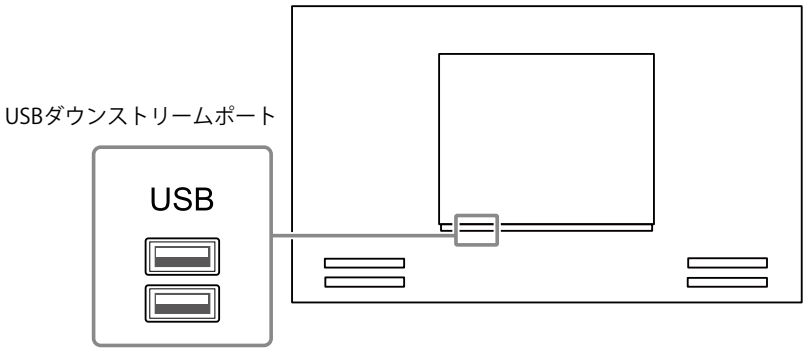
ログが表示されます。

2. ログを表示する日付（年、月、日）を選択します。
3. 「表示」の「実行」を選択します。
   右側のエリアにログが表示されます。

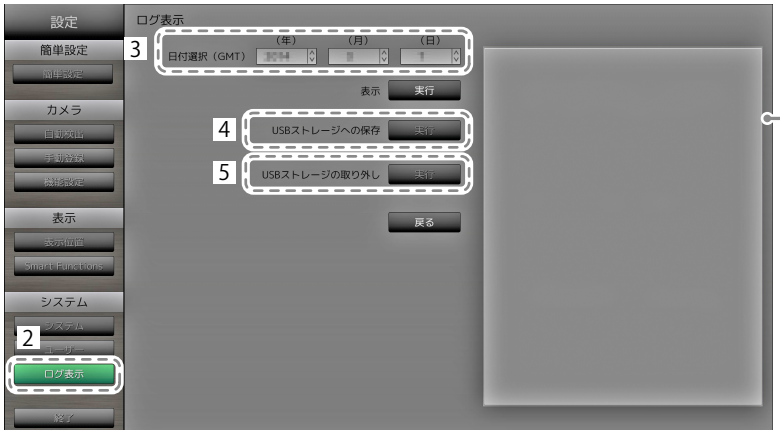
● ログデータを保存する

保存方法

1. モニター背面のUSBダウンストリームポートにUSBストレージデバイスを接続します。



2. 「ログ表示」を選択します。



3. データを保存する日付（年、月、日）を選択します。
4. 「USBストレージへの保存」の「実行」を選択します。
   データの保存が開始され、右側の表示エリアに「保存中」と表示されます。
   保存完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。
5. 「USBストレージの取り外し」の「実行」を選択します。
   取り外し完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。
6. USBストレージデバイスを取り外します。

注意点

- この製品で使用できるUSBストレージデバイスは次のとおりです（すべてのUSBストレージデバイスの動作を保証するものではありません）。
  - USB 2.0に準拠したUSBメモリー
  - 対応フォーマット：FAT32
- 複数のUSBストレージデバイスを同時に接続しないでください。

第 3 章　Webブラウザから設定する

本製品は、お使いのWebブラウザからネットワークカメラの設定や操作をすることができます。
Webコントロール画面には、基本情報、本体設定、ライブ画面設定があります。

参考

- モニター画面から設定する場合は、「第 2 章 モニター画面から設定する」（P.8）を参照してください。

注意点

- Webブラウザは、Internet Explorer 11を推奨します。
- Webブラウザから設定をおこなう場合は、モニターを起動する必要があります。
- モニターのWeb インターフェイスの設定がオフの場合は、Webブラウザで表示することはできません（詳細は、「通信設定」（P.56）を参照してください）。

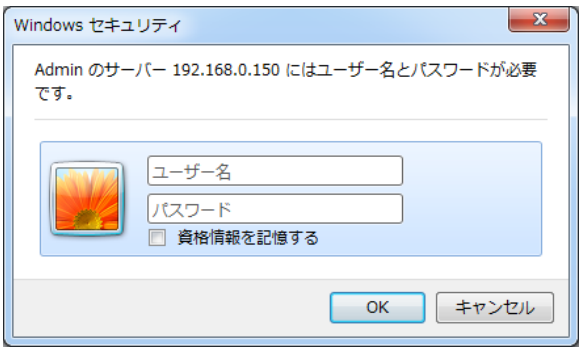
3-1. 設定の前に

Webブラウザから設定するには、お使いのWebブラウザからログイン認証する必要があります。ログインは、アクセスしているユーザーのレベルが「ADMIN」のときのみ有効です。

操作方法

1. モニター前面の ⏻ またはリモコンの POWER を押します。
   電源ランプが青色に点灯し、ライブ画面が表示されます。
   （ライブ画面については、操作マニュアルを参照してください。）
2. お使いのコンピュータからWebブラウザを表示します。
3. アドレスを入力してアクセスします。
   アドレス：http://モニター本体のアドレス/ui※1
   ※1 初期設定の場合は http://192.168.0.150/ui で表示できます。

   ログイン画面が表示されます。



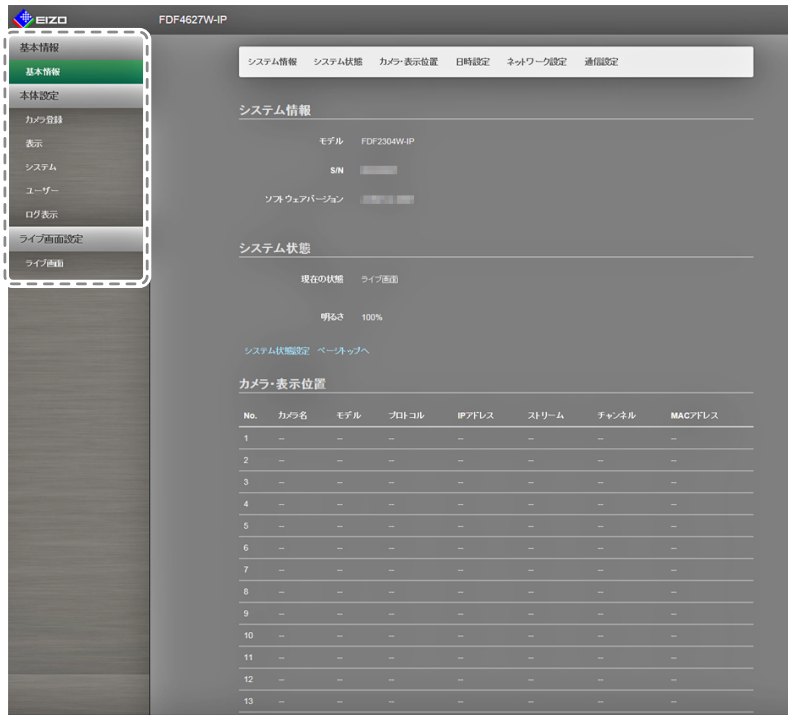
4. ユーザー名とパスワードを入力します。
5. 「ログイン」を選択します。
   「Webコントロール画面」が表示されます。

参考

- 初期設定では次のユーザー情報が設定されています。
  - ユーザー名：「admin」
  - パスワード：「admin」
  - ユーザーレベル：「ADMIN」
- ユーザーの設定については、「2-7. ユーザー情報を設定する」（P.34）を参照してください。
- 第三者によるネットワークカメラの操作や設定の改ざんを防ぐため、設定終了後はログアウトすることをお勧めします。Webブラウザを閉じてください。

3-2. Webコントロール画面について

Webコントロール画面には、基本情報、本体設定、ライブ画面設定があります。
基本情報ではモニターから取得した各種の設定値の一覧を表示します。本体設定ではネットワークカメラの登録やモニターのシステム設定などの各種設定をおこない、ライブ画面設定ではライブ画面のレイアウト変更など表示の設定をおこないます。



● 基本操作方法

項目を選択するとき

- 設定項目をクリックします。
  設定項目をクリックすると緑色で表示されます。リストボックスの場合は、表示されたリストの中から項目を選択すると選択項目が緑色に表示されます。

選択した項目を決定するとき

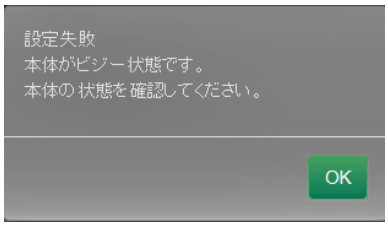
- 「適用」または「登録」をクリックします。
  「設定完了」または「設定失敗」のメッセージが表示されます。必要に応じて「OK」をクリックしてください。

Webブラウザを終了する

- Webブラウザの をクリックします。設定ブラウザが閉じて終了します。

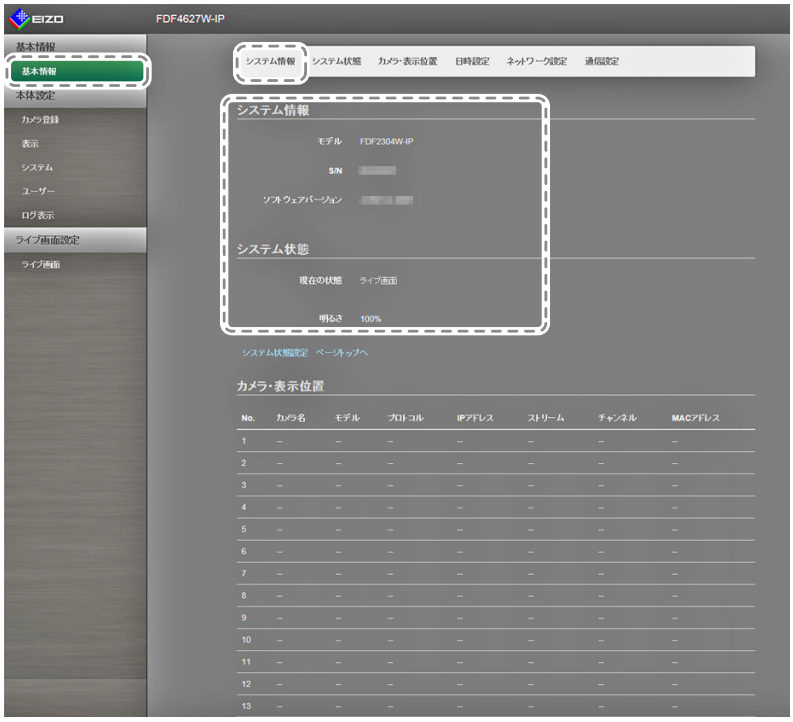
参考

- モニターで自動検出を実行中、または設定中のダイアログボックスが表示されている場合は、Webブラウザでの操作を受け付けません。ビジー状態のメッセージが表示されます。「OK」をクリックして再度設定をおこなってください。



3-3. 基本情報

モニターから取得した各種の設定値の一覧を表示します。
各種の設定をする場合は、画面上部の項目タブをクリックします。設定項目ページへ移動することができます。



● システム情報

現在のモニターのシステム状態を表示します。

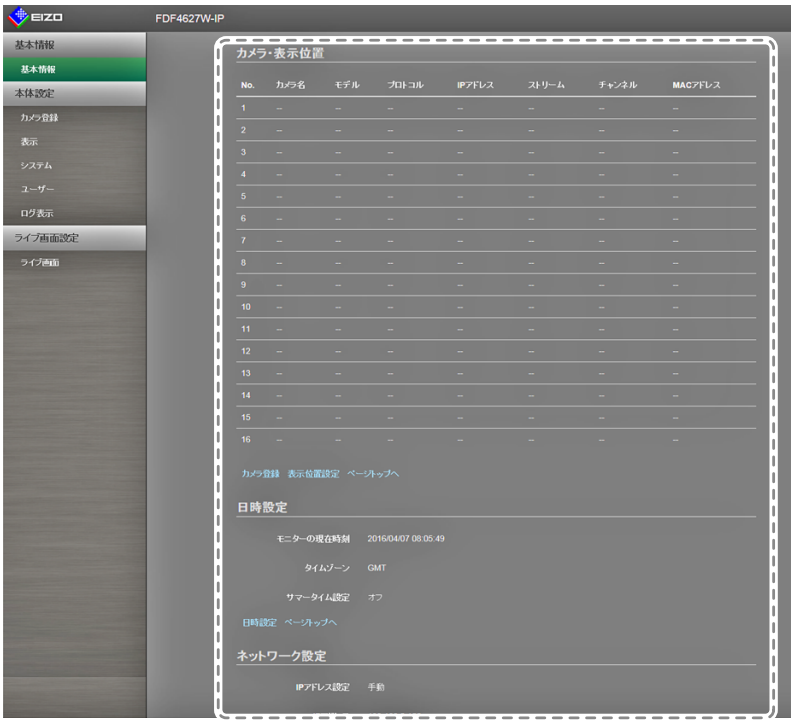
- モデル名
- シリアルナンバー
- ソフトウェアバージョン

● システム状態

モニターの画面の表示状態と明るさを表示します。

● カメラ・表示位置 / 日時設定 / ネットワーク設定 / 通信設定

現在のモニターの設定状態を表示しています。
設定する場合、各種項目の下部にある項目名のリンクをクリックする、または画面上部の設定項目タブをクリックします。設定項目のページへ移動します。



3-4. ネットワークカメラを設定する

「カメラ登録」は、現在モニターに登録されているネットワークカメラの情報を一覧表示します。ネットワークカメラの追加や変更をおこない、ネットワークカメラの情報などをモニターへ反映することができます。

注意点

- ネットワークカメラの変更は、登録されているネットワークカメラのみ変更することができます。
- ネットワークカメラの機能を設定することはできません。ネットワークカメラの機能を設定する場合は、「第 2 章 モニター画面から設定する」（P.8）を参照してください。

● カメラを自動検出する

ネットワーク上のネットワークカメラを自動的に検出して、システムに登録します。

注意点

- ネットワークカメラとモニターが同じサブネット内に設置されたネットワークカメラのみ自動検出できます。異なるサブネット上に設置されている場合は、手動で登録してください（「ネットワークカメラを手動で登録する」（P.13）参照）。
- 「簡単設定」については、セットアップマニュアルを参照してください。

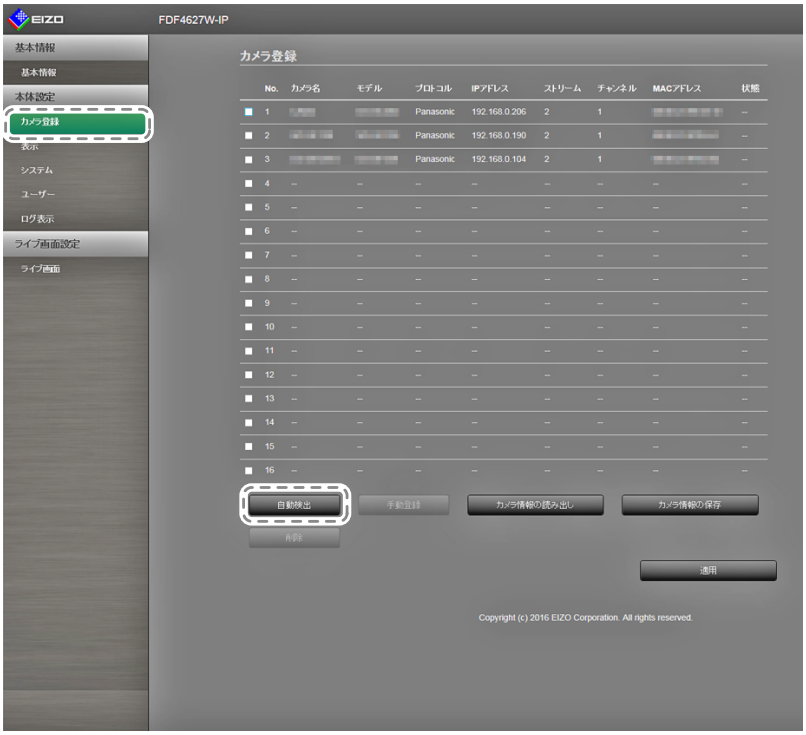
参考

- カメラ検出の画面上部に、追加登録が可能なネットワークカメラの残数が表示されます。

設定方法

1. 「カメラ登録」を選択します。

   カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. 「自動検出」を選択します。

   「カメラの検出を開始します。」ダイアログボックスが表示されます。

3. 「プロトコル」をリストから選択します。

   ネットワークカメラに登録されているユーザー名とパスワードを入力します。

4. 「OK」を選択します。

「検索中」ダイアログボックスが表示され、追加候補一覧に検出されたネットワークカメラが表示されます。

参考

- 検出されたカメラ一覧のWebページ欄に、Webページリンクがあります。クリックすると別ウィンドウでカメラのWebページを開きます。（アドレス ： http://(IPアドレス):(HTTPポート)）
- カメラ検出の候補が 0 件の場合は、何も表示されません。
- カメラ検出中にキャンセルを選択した場合、キャンセルするまでに検出したカメラの一覧が表示されます。

5. カメラの候補一覧から追加するカメラを選択して「追加」を選択します。

手順 1 のカメラの登録情報一覧画面へ戻ります。

6. 「適用」を選択します。

設定確認のダイアログボックスが表示されます。

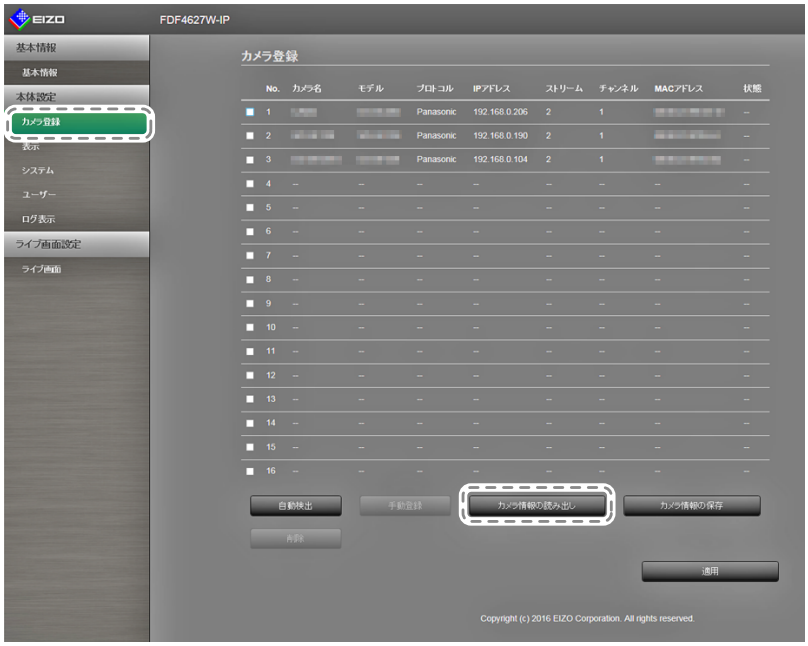
7. 「OK」を選択します。

● カメラ情報の読み出し

カメラの追加候補を記載したCSVファイルを読み込んで、ネットワークカメラの検出候補にすることができます。

設定方法

1. 「カメラ登録」を選択します。
   カメラの登録情報の一覧が表示されます。



2. 「カメラ情報の読み出し」を選択します。
   ファイルのダイアログボックスが開きます。

3. ネットワークカメラ情報が記載されているCSVファイルを選択し、「開く」を選択します。
   ネットワークカメラの候補一覧が表示されます。

4. カメラの候補一覧から追加するカメラを選択して「追加」を選択します。
   手順 1 のカメラの登録情報一覧画面へ戻ります。

5. 「適用」を選択します。
   設定確認のダイアログボックスが表示されます。

6. 「OK」を選択します。

参考

- 読み込みが可能なカメラの候補数は、255台です。
- 読み込むことができるCSVファイルは次のとおりです。
  - モニターまたはブラウザからエクスポートされたCSVファイル
  - ユーザーが作成したCSVファイル
- CSVファイルのエクスポート方法については「カメラ情報の保存」（P.47）を参照してください。
- ユーザーがCSVファイルを作成する場合は、次のルールで作成します。
  - 1行目を項目行として「CameraName, Protocol, IPAddress, HttpPort, UserName, PassWord」を記載してください。
  - 各列の順番は不同です。
  - 「UserName, PassWord」の値の入力は任意です。
  - 項目名は指定の文字列のみ読み込みが可能です。

```
CameraName,Protocol,IPAddress,HttpPort,UserName,PassWord
[redacted],Panasonic,192.168.0.100,80,admin,[redacted]
[redacted],Panasonic,192.168.0.200,80,admin,[redacted]
[redacted],Panasonic,192.168.0.250,80,admin,[redacted]
```

● カメラ情報の変更

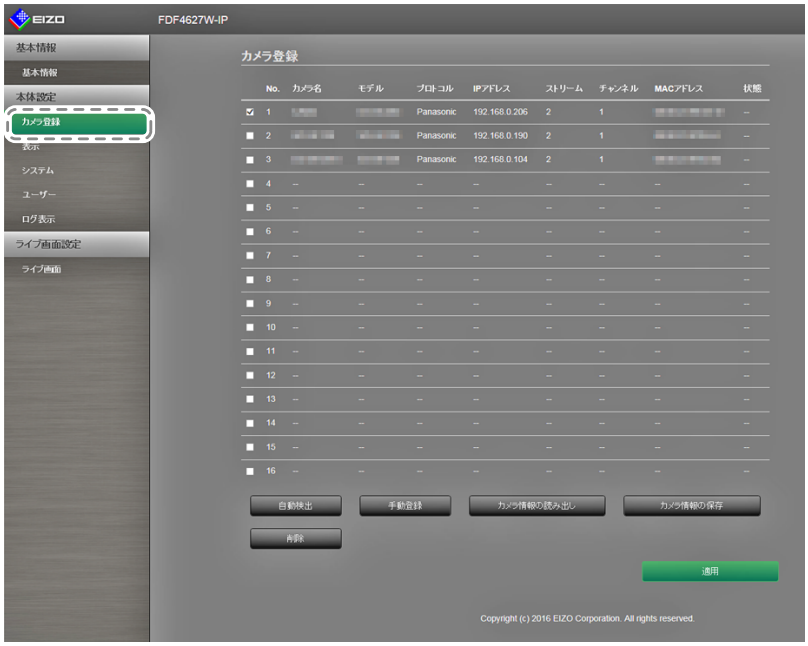
カメラ登録情報一覧のカメラに対して、登録情報の内容を変更することができます。

注意点

- 変更するネットワークカメラの登録情報を複数選択した場合は、「手動登録」が無効になります。

1. 「カメラ登録」を選択します。

   カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. 変更するカメラの番号をチェックします。

3. 「手動登録」を選択します。

「カメラ情報設定」のダイアログボックスが表示されます。登録済みのカメラを選択した場合は、対象カメラの情報が記載されたダイアログボックスが表示されます。

項目	内容	設定範囲
カメラ名	半角英数文字、かな、漢字の入力が可能	0 ～ 24文字
IPアドレス	新規カメラの場合は、空白	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255

4. 変更内容を設定し、「OK」を選択します。

手順 1 のカメラの登録情報一覧画面へ戻ります。

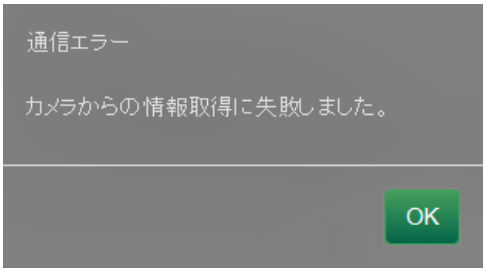
5. 「適用」を選択します。

設定確認のダイアログボックスが表示されます。

6. 「OK」を選択します。

参考

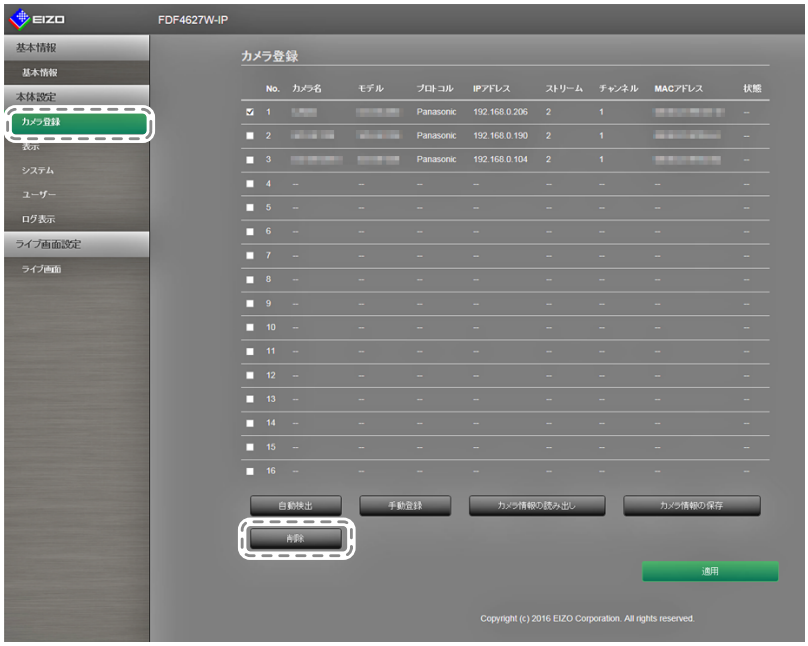
- 「カメラ名取得」、「プロファイル取得」の情報の取得に失敗した場合は、次のメッセージが表示されます。再度、情報を取得してください。



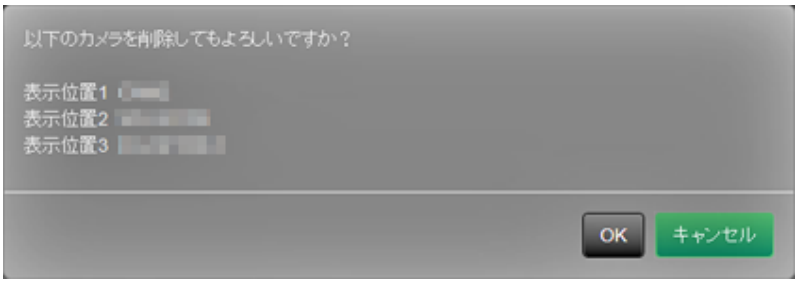
● カメラ情報の削除

カメラの登録情報の内容を削除することができます。

1. 「カメラ登録」を選択します。
   カメラの登録情報が一覧表示された画面が表示されます。



2. 削除するカメラの番号をチェックします。
3. 「削除」を選択します。
   設定確認のダイアログボックスが表示されます。



4. 「OK」を選択します。
   カメラの登録情報が一覧表示された画面へ戻ります。
5. 「適用」を選択します。
   設定確認のダイアログボックスが表示されます。
6. 「OK」を選択します。

● カメラ情報の保存

カメラの登録情報一覧に登録されている情報を、CSVファイルで保存することができます。
「カメラ情報の保存」を選択すると、情報一覧に表示されているカメラ情報が記載されたCSVファイルがエクスポートされます。

ファイル名：fdf4627wip_CameraInfo_yyyymmdd.csv
(yyyymmddはコンピュータの日時になります。)

3-5. カメラ画像の表示位置を設定する

ネットワークカメラの表示位置や、ライブ画面にカメラ名を表示する設定がおこなえます。

1. 「本体設定」の「表示」を選択します。
   表示位置設定の画面が表示されます。「表示」でおこなえる各設定項目のリンクが、上部に配置されています。

2. 各設定項目を選択します。
   対象の設定画面が表示されます。

● 表示位置の設定

ネットワークカメラの画像を表示する位置を設定します。
Page内のカメラをドラッグ&ドロップすることで、移動元と移動先のカメラ画像の表示位置が入れ替わります。

注意点

- 登録しているネットワークカメラの、すべての表示位置の設定が可能です。

設定方法

1. 「表示位置設定」を選択します。

   「表示位置設定」画面が表示されます。

   Page内の番号を含むそれぞれの外枠四角はカメラの表示位置※1、カメラの表示位置の内枠四角は表示されるカメラ名※2です。

2. 表示位置のレイアウトをリストから選択します。

   レイアウトをリストボックスから選択します。選択したレイアウトに応じた画面に変化します。

参考

- リストボックスでレイアウトを選択すると、Page内の表示が選択した状態に変化します。表示状態をイメージしながら設定することができます。
- 画面が表示した時のはじめの表示位置は、現在モニターに設定されている表示位置が表示されます。
- 内枠四角のカメラ名は、それぞれのPage間をドラッグ&ドロップで入れ替えることが可能です。

3. カメラ名をドラッグして、表示したい位置番号へドロップします。

   移動元と移動先のカメラ画像の表示位置が入れ替わります。

   例）レイアウト4面の場合

   1. Page1の「表示位置1」をドラッグしてPage2の「表示位置5」にドロップします。
   2. 「表示位置1」のカメラと「表示位置5」のカメラが入れ替わります。
   3. カメラ画像の表示位置は移動せずに、内枠四角のカメラ名のみが移動します。

4. 「適用」を選択します。カメラ画像の表示位置が反映されます。

   「リセット」を選択すると、設定変更中の情報は破棄され、現在のモニターの表示設定になります。

参考

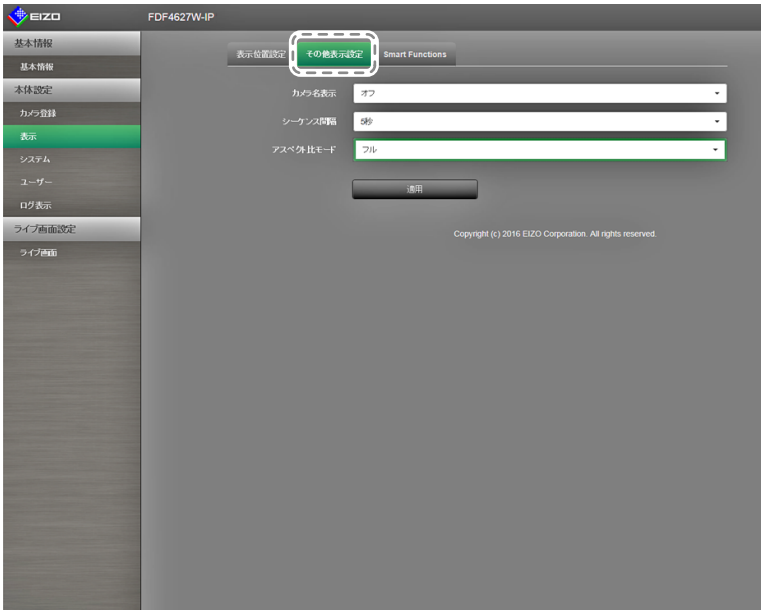
- カメラ名の割り当てがあるフレームは、フレームにカメラのWebページリンクが埋め込まれています。クリックすると別ウィンドウでカメラのWebページが開きます。

● その他の表示設定

カメラ画像に表示させる項目の設定をおこないます。

設定方法

1. 「その他表示設定」を選択します。
   「その他表示設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
カメラ名表示	モニター側に設定されているカメラ名を表示 / 非表示します。（カメラ名は画像の左上に表示されます。）	オン / オフ
シーケンス間隔	シーケンス表示時に画面が切り替わる間隔を設定します。	5秒～60秒
アスペクト比モード	ネットワークカメラから配信される動画のアスペクト比とモニターの画像表示エリアのアスペクト比が異なる場合に優先する方を設定します。	フル / アスペクト

● Smart機能の設定

各カメラ画像に対して、Smart機能の設定をおこないます。

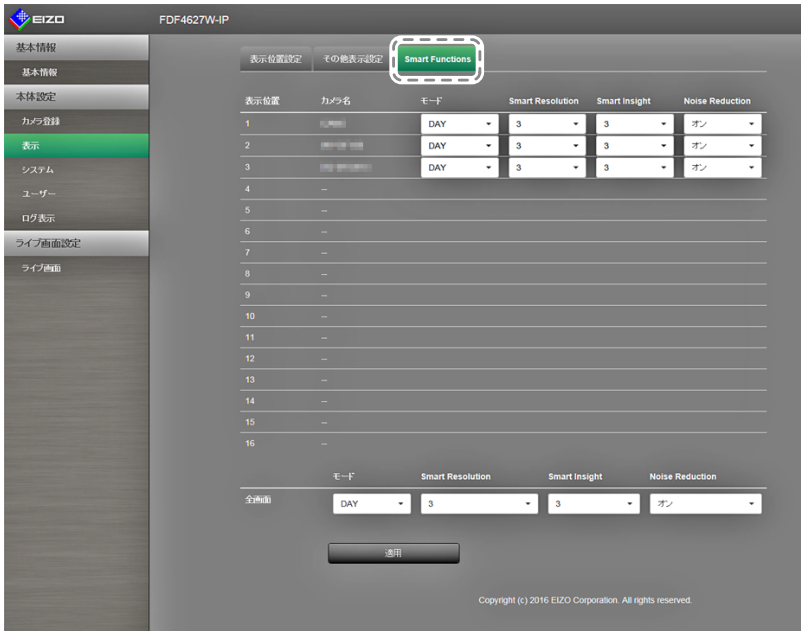
注意点

- カメラの割り当てがない表示位置は、カメラ名など各情報が空白行として表示されます。各リストボックスは無効となり表示されません。

設定方法

1. 「SmartFunctions」を選択します。

   「SmartFunctions」画面が表示されます。



2. 対象表示位置のカメラを設定します。
3. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
モード	選択したネットワークカメラの画像に適用する表示モードを選択します。 「DAY」にすると、一般的な画像に適したモードになります。 「NIGHT」にすると、撮影画像が夜間のようなモノクロの場合に適したモードになります。	DAY / NIGHT / オフ
Smart Resolution	画像の解像感を調整します。ぼやけを改善し、鮮やかでクリアな表示にすることができます。	1～5 / オフ
Smart Insight	画像を分析し画素ごとに明るさを補正することで、暗くて見えにくい部分を見やすくすることができます。暗い部分が見えにくい画像や、明るい環境でモニターを使用するときなどに利用すると効果的です。	1～5 / オフ
Block Noise Reduction	ブロックノイズ（モザイク状の画像の乱れ）を抑えることができます。	オン / オフ

4. 「適用」を選択します。

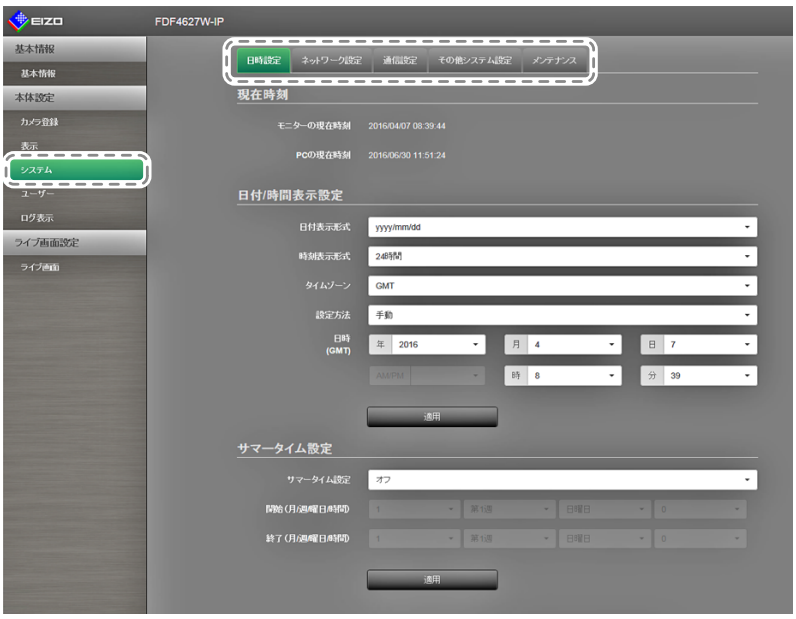
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

3-6. システム設定をおこなう

この製品の日付や時刻、ネットワークの設定やメンテナンスをおこなえます。

設定方法

1. 「本体設定」の「システム」を選択します。
   システム設定でおこなえる設定項目のリンクが、画面上部に配置されています。

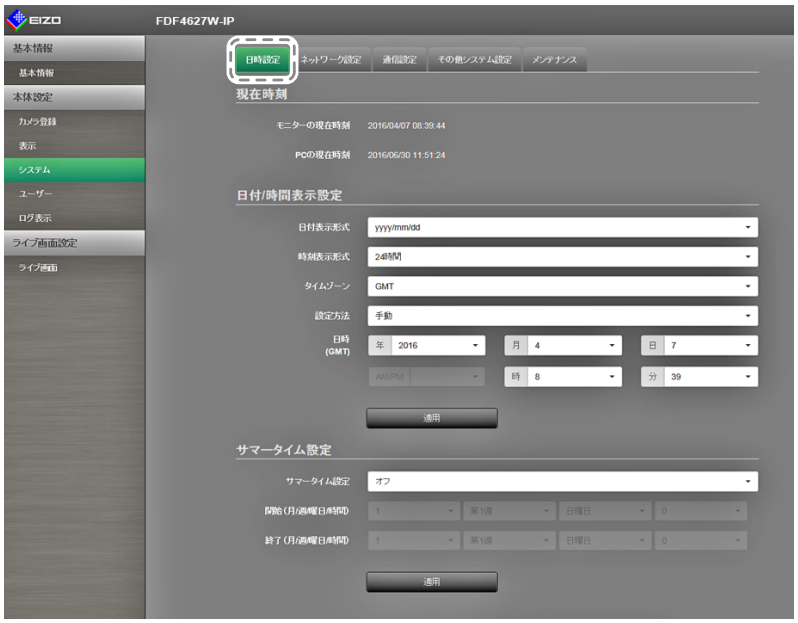


2. 各設定項目を選択します。
   対象の設定画面が表示されます。

● 日時設定

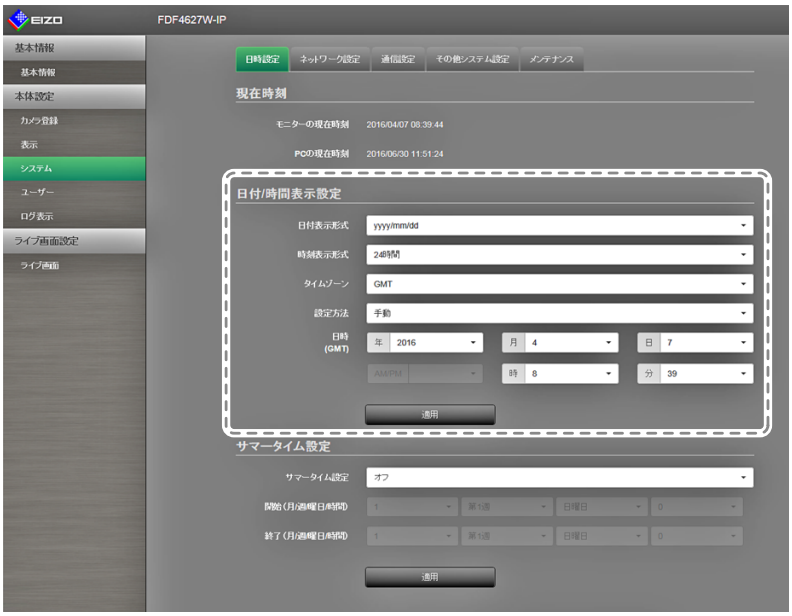
現在の日時設定、サマータイムの設定をおこなえます。

1. 「日時設定」を選択します。
   「日時設定」画面が表示されます。



日付 / 時間表示設定

現在の日付と時刻を設定します。



1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
日付表示形式	日付の表示形式、時間の表示形式、およびタイムゾーン（GMT※1との時差）を設定します。	yyyy/mm/dd、Mmm/dd/yyyy、dd/Mmm/yyyy、mm/dd/yyyy、dd/mm/yyyy
時刻表示形式		24時間 / 12時間
タイムゾーン		GMT-12:00～GMT+14:00
設定方法		手動 / PCと同期
日時	現在の時刻を設定します。	2010/1/1 0:00～2035/12/31 23:59

※1 グリニッジ標準時間

2. 「適用」を選択します。

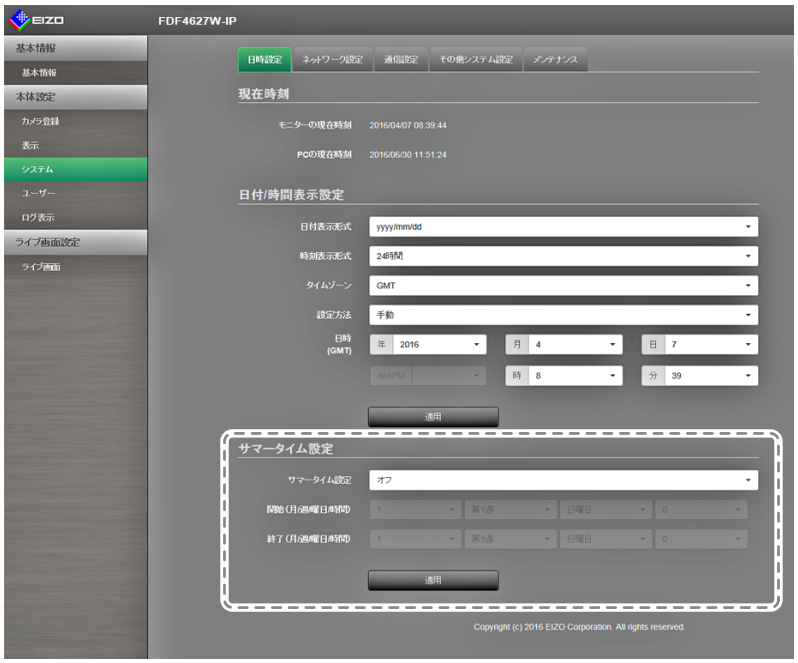
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

参考

- 「設定方法」で「PCと同期」を選択した場合、コンピュータの現在の日時設定情報をモニターへ送信し同期されます。
- 1週間以上主電源スイッチを切る、電源コードを電源コンセントに接続していないときは、モニターの日付と時間が正確に表示されなくなります。その場合は、日時を設定し直してください。

サマータイム設定

サマータイムの適用 / 解除を設定します。



1. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
サマータイム設定	サマータイムを適用 / 解除します。 「オン」にすると、直ちにサマータイムを適用した時間で時刻を表示します。 「オフ」にすると、サマータイムは適用されません。 「自動」にすると、開始 / 終了で指定された期間、サマータイムを適用します。	オン / オフ / 自動

2. 「適用」を選択します。

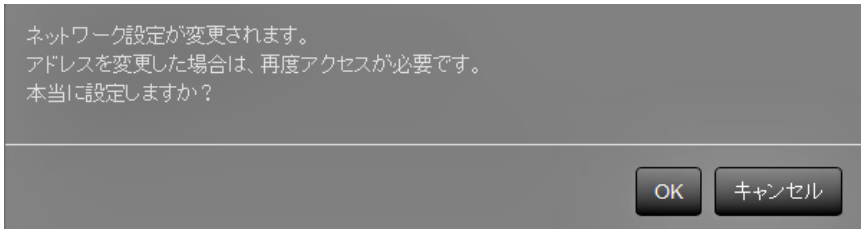
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

● ネットワーク設定

ネットワーク情報を設定します。

注意点

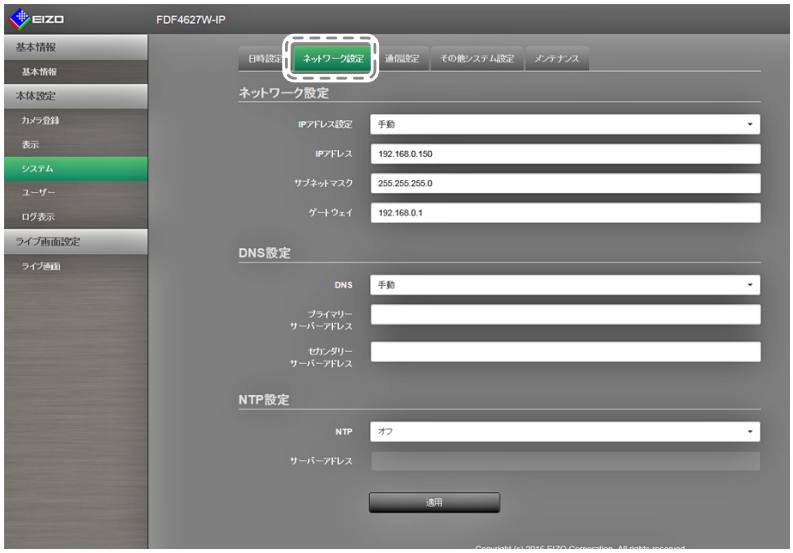
- IPアドレス設定 / IPアドレス / サブネットマスク / ゲートウェイのいずれかを変更して「適用」を選択した場合、「ネットワーク設定が変更されます。」の警告メッセージが表示されます。「OK」を選択してください。



また、警告メッセージの「OK」を選択すると、再度アクセスを要求するメッセージが表示されます。

1. 「システム」の「ネットワーク設定」を選択します。

   「ネットワーク設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲	
ネットワーク設定	IPアドレス設定を選択します。	IPアドレス設定	DHCP / 手動設定
	「手動設定」を選択した場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定してください。	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ※1	0.0.0.0～255.255.255.255
DNS設定	DNSを設定します。（「ネットワーク設定」の「IPアドレス設定」を「手動」に設定した場合）	DNS	自動 / 手動
	「手動」を選択した場合は、プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレスを設定してください。	プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255
NTP設定	NTPサーバーを利用する / しないを設定します。	NTP	オン / オフ
	「オン」を選択した場合は、NTPサーバーのアドレスを設定してください。	サーバーアドレス	英数字、記号

※1 ゲートウェイがない環境の場合は、「ゲートウェイ」を設定する必要はありません。初期設定のままとするか、「0.0.0.0」を設定してください。

3. 「適用」を選択します。

   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

● 通信設定

Webインターフェイス機能や通信エラーの検知を設定します。

1. 「システム」の「通信設定」を選択します。

   「通信設定」画面が表示されます。

2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
通信速度	モニターとネットワークハブ間の通信速度を設定します。	100Mbps 半二重、 100Mbps 全二重、 1000Mbps 全二重
通信エラー検知	画像データの受信が停止した場合のメッセージ表示として、次の設定がおこなえます。 通信エラー検知オン： 画像データの受信が停止後の数秒以内に、ライブ画面上に赤枠のアラートメッセージが表示されます。通信が再開するとアラート表示が解除され、再度動画が表示されます。 通信エラー検知オフ： 画像データの受信が停止してから約20秒経過後、通信エラーのメッセージが表示されます。	オン / オフ
Webインターフェイス	ネットワークを経由して、Webブラウザからモニターの操作や設定を可能にします。	オン / オフ
Webインターフェイスポート	Webインターフェイスのポートを設定します。※1	1～65535

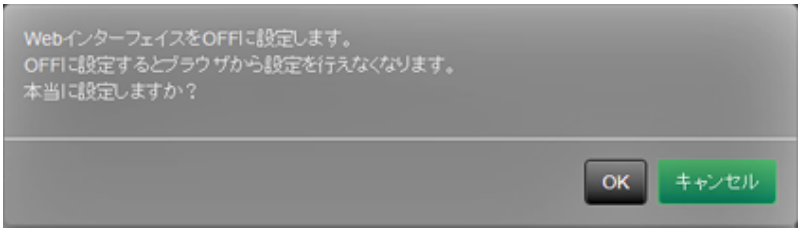
※1 Webインターフェイスがオンの場合、ポートを設定することができます。

3. 「適用」を選択します。

   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

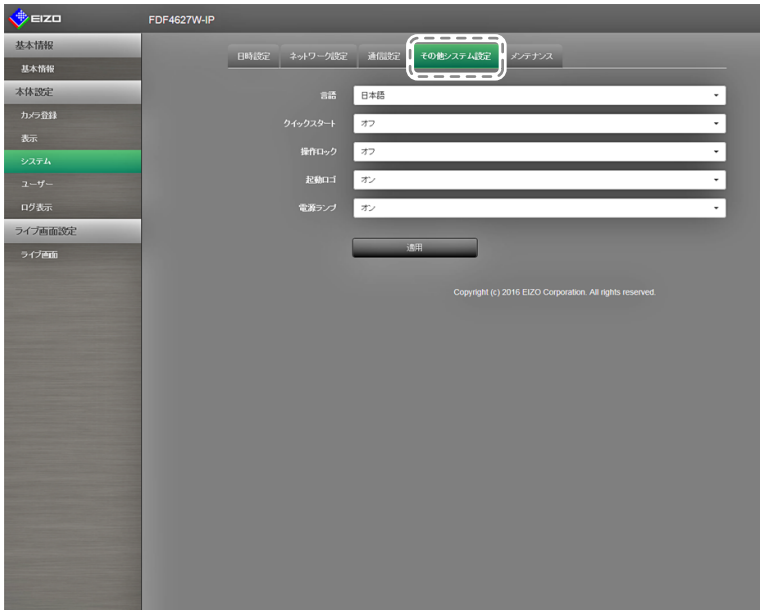
注意点

- Webインターフェイスをオフにした場合は、Webブラウザからモニターの設定をおこなうことができません。Webインターフェイスをオフにし、「適用」を選択した場合は、次の警告メッセージが表示されます。



● その他システム設定

1. 「システム」の「その他システム設定」を選択します。
   「その他システム設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

項目	内容	設定範囲
言語	メニューおよび設定画面の表示言語を設定します。	日本語 / English / Deutsch
クイックスタート	電源オフ時の状態を設定します。 「オン」にすると、システムの一部が起動したままとなります。 「オフ」にすると、システムが完全に終了します。 「オン」に設定すると、この製品の起動時間を早くすることができます（約10秒間）。ただし、システムが完全に終了していませんので、「オン」に設定されている場合は、モニターの主電源を切らないでください。	オン / オフ
操作ロック	モニター前面のボタンでの操作をロックします。	オン / オフ
起動ロゴ	電源オン時のEIZOロゴの表示 / 非表示を切り替えます※1。	オン / オフ
電源ランプ	画面表示時の電源ランプ（青）の点灯 / 消灯を切り替えます。	オン / オフ

※1 システム起動中を示す回転バーを非表示にすることはできません。

3. 「適用」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

● メンテナンス

システムの初期化、再起動、ソフトウェアの更新をおこないます。

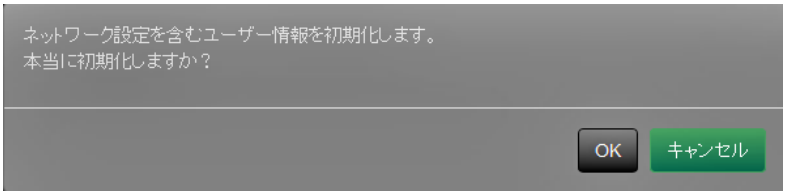
1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。
   「メンテナンス」画面が表示されます。

初期化・再起動

システムを初期化する

1. 「初期化」の「実行」を選択します。
   システムログ、操作ログ、現在時刻、タイムゾーン、サマータイム設定以外の設定が初期設定に戻ります。

2. 次のメッセージが表示されます。
   「OK」を選択してください。



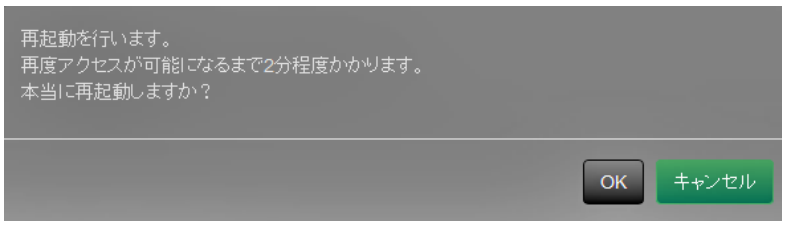
システムを再起動する

1. 「再起動」の「実行」を選択します。

   システムを再起動します。

2. 次のメッセージが表示されます。

   「OK」を選択してください。



ソフトウェア更新

ソフトウェアのバージョンアップ、バージョンダウンをおこなうことができます。

1. 「システム」の「メンテナンス」を選択します。

   「ソフトウェア更新」画面が表示されます。

2. 「参照」を選択します。

   ファイル選択のダイアログボックスが開きます。対象ファイルを選択します。

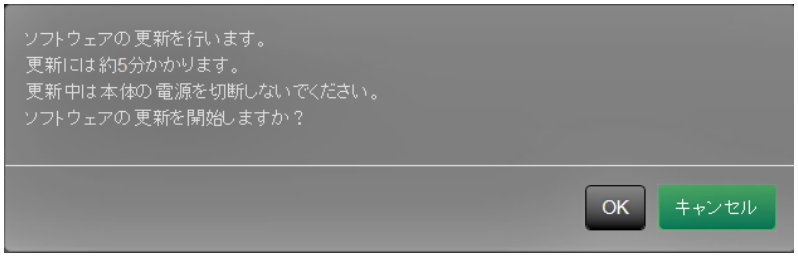
注意点

- ファイルを未選択の状態、もしくは更新ファイル以外のファイルを選択した場合は、更新はされません。
- ソフトウェア更新は、モニターの画面が表示されている状態でおこなってください。

3. 「実行」を選択します。

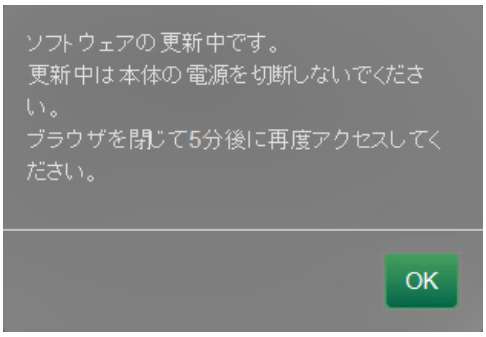
4. 次のメッセージが表示されます。

   「OK」を選択してください。



5. 更新処理がはじまり、次のメッセージが表示されます。

   「OK」を選択してください。



6. ソフトウェアが更新されます。

   Webブラウザを閉じて、約5分後に再度アクセスしてください。

参考

- ファイル選択画面から更新用のファイルを選択 することができ、バージョンアップ、バージョンダウンともにソフトウェアの更新ができます。
- 再起動すると、ソフトウェア更新の成否を示すメッセージが表示されます。「OK」を選択しないときは、メッセージが表示された後に60秒が経過すると、自動的に消えます。ただしWebブラウザからソフトウェアの更新をする場合は、このメッセージは表示されません。

3-7. ユーザー情報を設定する

この製品にアクセスするユーザー情報（ユーザー名、ユーザーレベル、パスワード）を登録、変更、削除します。

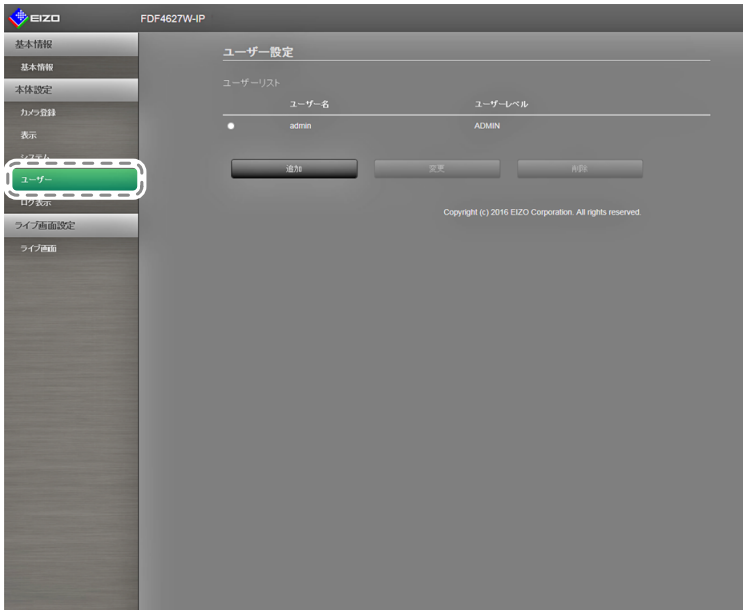
参考

- 詳細は、「2-7. ユーザー情報を設定する」（P.34）を参照してください。

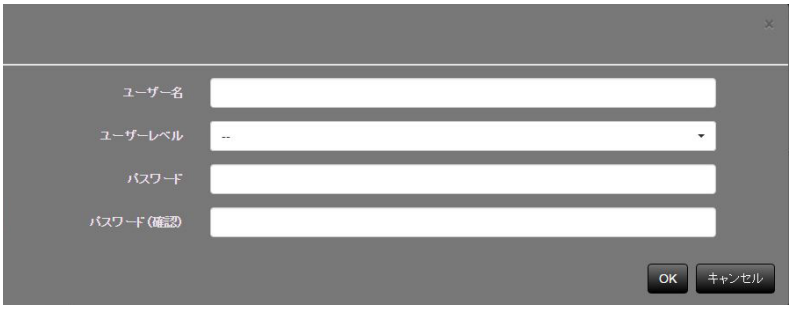
● ユーザー情報を追加する

設定方法

1. 「ユーザー」を選択します。
   「ユーザー設定」画面が表示されます。



2. 「追加」を選択します。
   ユーザー情報を入力するダイアログボックスが表示されます。



3. ユーザー情報を設定します。
4. 「OK」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

● ユーザー情報を変更する

設定方法

1. 「ユーザー」を選択します。

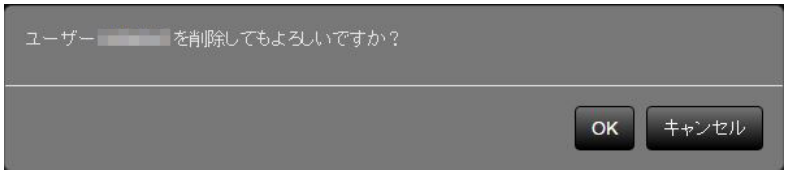
2. 変更するユーザーを「ユーザーリスト」から選択します。
3. 「変更」を選択します。
   ユーザー情報を入力するダイアログボックスが表示されます。
4. ユーザー情報を設定します。
5. 「OK」を選択します。
   設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

● ユーザー情報を削除する

設定方法

1. 「ユーザー」を選択します。

2. 削除するユーザーを「ユーザーリスト」から選択します。
3. 「削除」を選択します。
4. 「ユーザーXXXを削除してもよろしいですか」の確認ダイアログボックスが表示されますので「OK」を選択してください。



   削除しない場合は「キャンセル」を選択してください。

5. 設定完了画面が表示されますので「OK」を選択してください。

3-8. 操作ログを表示する

この製品への操作はログに記録されています。操作ログを表示して、過去の操作結果を確認できます。
またシステムのログを表示することもできます。

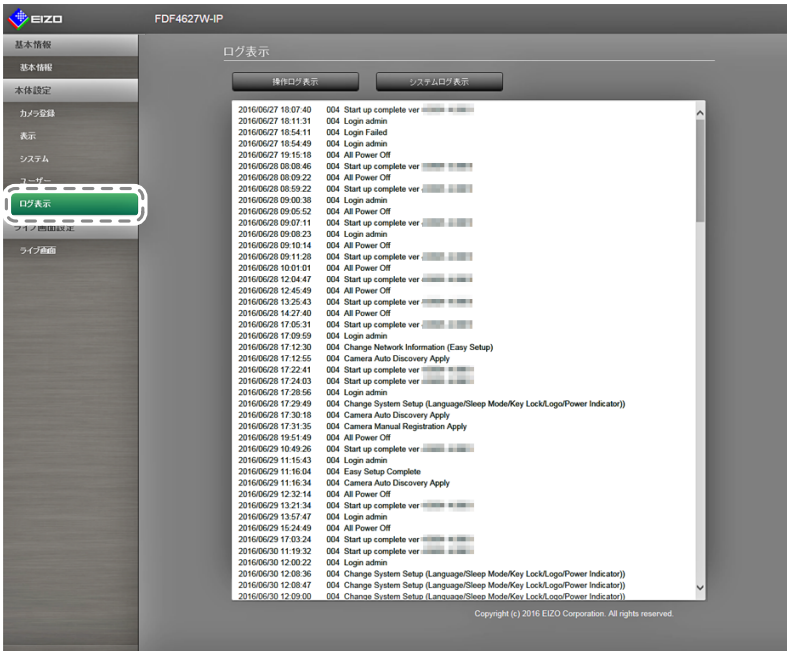
参考

- ログに記録される情報は次のとおりです。
  - ログイン情報：システムにログインしたユーザー名
  - カメラ操作の結果：操作したカメラ名、操作した内容、操作の結果
  - 各設定画面で「適用」を選択して決定したときの日時と変更内容
- 毎月1日の午前4時0分0秒に、2か月前までのログが自動的に消去されます。

● ログを表示する

表示方法

1. 「ログ表示」を選択します。



2. 「操作ログ表示」を選択します。
   下のエリアにログが表示されます。

● システムログを表示する

表示方法

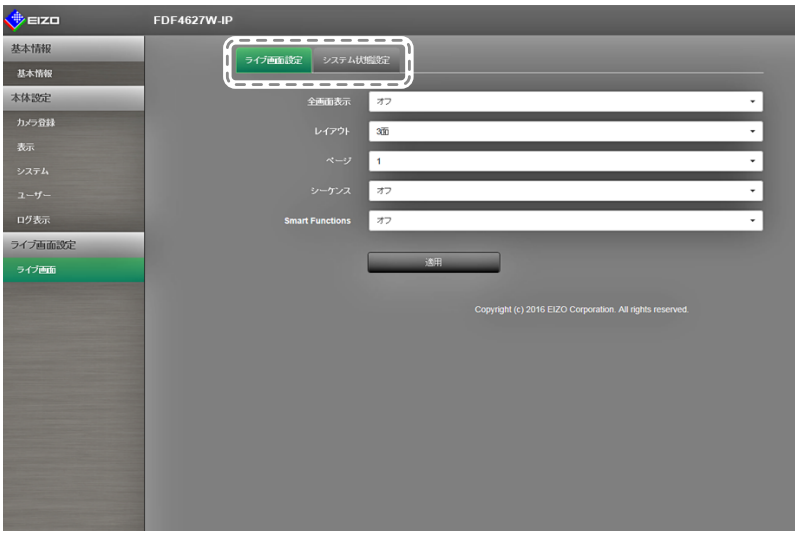
1. 「ログ表示」を選択します。
2. 「システムログ表示」を選択します。
   下のエリアにログが表示されます。

3-9. ライブ画面を設定する

ライブ画面設定では、ライブ画面のレイアウト変更やモニターの現在の状態など、表示の設定をおこないます。

設定方法

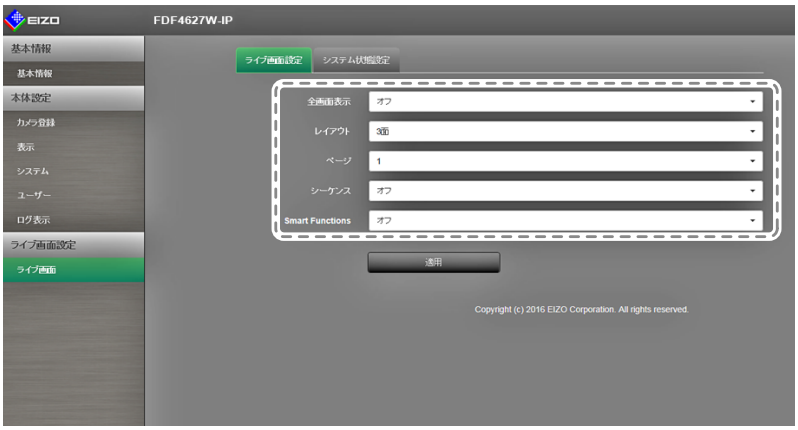
1. 「ライブ画面設定」の「ライブ画面」を選択します。
   ライブ画面設定でおこなえる設定項目のリンクが、画面上部に配置されています。



2. 各設定項目を選択します。
   対象の設定画面が表示されます。

● ライブ画面設定

ライブ画面設定では、ライブ画面のレイアウト変更など表示の設定をおこないます。



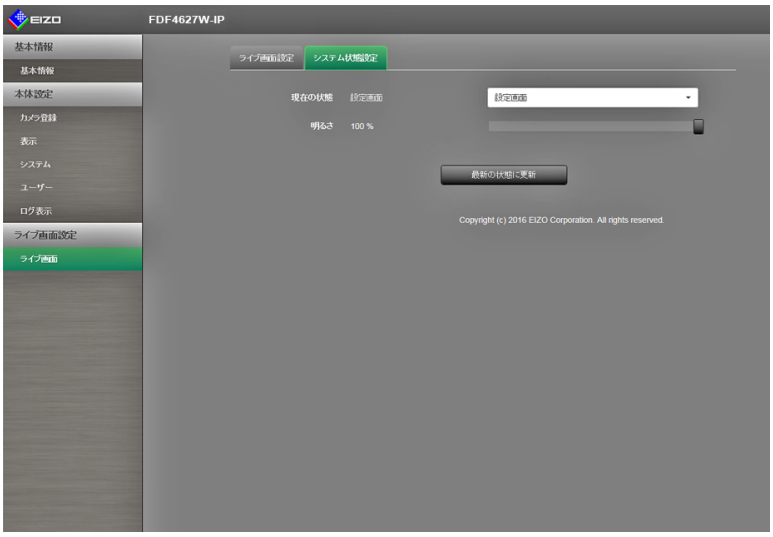
1. 各設定項目をリストボックスから選択します。

項目	内容	設定範囲
全画面表示	ライブ画面のメニューを表示 / 非表示します。	オン / オフ
レイアウト	モニター画面のレイアウトを変更します。 1面、3面、4面、9面、16面、8面にレイアウトを切り替えることができます。	1面 / 3面 / 4面 / 9面 / 16面 / 8面
ページ	モニターに表示するカメラ画像のページを切り替えます。	1～16
シーケンス	カメラ画像のシーケンス表示のオンまたはオフを切り替えます。	オン / オフ
Smart機能	Smart機能のオンまたはオフを切り替えます。	オン / オフ

2. 「適用」を選択します。
3. 設定完了画面が表示されます。「OK」を選択してください。

● システム状態設定

現在のモニター画面の表示状態と、モニター画面の明るさを設定します。



現在の状態

現在のモニター画面の表示状態を調整します。

1. 「現在の状態」の ▼ をクリックし、表示されたリストから状態を選択します。
   表示する状態は次のとおりです。

項目	状態
ライブ画面	モニター画面がライブ画面を表示している状態
設定画面	モニター画面が設定画面を表示している状態
HDMIポート表示	モニターのHDMIポートの表示状態
クイック電源オフ	クイックスタートがONで、電源がOFFの状態

2. 「最新の状態に更新」を選択します。
   最新の状態がモニターへ反映されます。

注意点

- クイック電源オフを選択した場合：
  設定エラーとなり「クイックスタートがOFFに設定されています。クイックスタートをONに設定した後、実行してください。」のメッセージが表示されます。

明るさ

モニター画面の明るさを調整します。

1. 「明るさ」のスライダーを左右に移動します。
   モニター画面の明るさが変化します。

2. 「最新の状態に更新」を選択します。
   最新の状態がモニターへ反映されます。

参考

- リモコンの（BRIGHT+, BRIGHT-）ボタンを押下したときと同じように、モニター画面の「Brightness」を変更することができます。変更後、「設定成功」または「設定失敗」のメッセージは表示されません。

第 4 章　こんなときは

4-1. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画像がカクカクとした表示になる（カメラ画像表示時）	• ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてみてください（「ビデオ設定」（P.16）参照）。 • 情報伝送量に応じたハブとネットワークケーブルを使用しているか確認してください。
2. モニターの電源投入後、約1分から2分、カメラ画像が正しく表示されない（カメラ画像表示時）	• 主電源を切った後すぐに再度主電源を入れると、最初の数分間画像が正しく表示されないことがありますが、数分後に正常に復帰します。
3. ネットワークカメラの時間とモニター本体の時間が一致していない（カメラ画像表示時）	• 設定画面でカメラとモニターの時計を同期させてください（「時刻設定」（P.16）参照）。
4. 画像が上下に反転して表示される（カメラ画像表示時）	• 設定画面でネットワークカメラの上下を反転してみてください（「その他カメラ設定」（P.21）参照）。
5. ネットワークカメラの向きを水平方向に変える（パン操作）と逆方向にカメラが動く	• 設定画面でネットワークカメラの上下を反転してみてください（「その他カメラ設定」（P.21）参照）。
6. 設定画面で設定した内容がカメラ画像に反映されていない	• 設定した内容がネットワークカメラに設定できる範囲内であるか確認してください。
7. カメラ画像表示エリアにエラー「E-**」が表示される**	• 通信エラー（E00-00）の場合 - ネットワークケーブルは正しく接続されていますか。 - ネットワークカメラの電源は入っていますか。 • 通信エラー（E00-01）の場合 - ネットワークカメラの同時接続数を超えている可能性があります。カメラへアクセスしている他のネットワーク機器の接続を切るか、カメラの解像度を下げてみてください（「ビデオ設定」（P.16）参照）。 - ネットワークカメラからH.264画像が配信されていない可能性があります。カメラ側の設定を確認してください。 • 通信エラー（E00-02）の場合 - ネットワーク帯域が圧迫しているか、この製品の表示性能を超えている可能性があります。ネットワークカメラの解像度やビットレートを下げてみてください（「ビデオ設定」（P.16）参照）。 • システムエラー（E00-03）の場合 - 再起動してください。
8. メッセージ表示エリアに「 カメラ操作エラー」と表示される**	• 操作した機能がネットワークカメラに搭載されていない可能性があります。カメラの仕様を確認してください。
9. 画面の色がおかしい（HDMI入力時）	• 「カラースペース」の設定を変更してみてください（詳細は詳細は、セットアップマニュアルを参照してください）。

4-2. 設定に関する症状

症状	原因と対処方法
1. ネットワークカメラを自動検出できない	• ネットワークカメラを起動してから20分以上経過している場合、自動検出やカメラのIPアドレス設定などができないことがあります。カメラを再起動するか、手動で登録してください（「ネットワークカメラを手動で登録する」（P.13）参照）。 • 異なるサブネットに設置されているネットワークカメラは自動検出できません。手動登録をおこなってください。 ネットワークカメラとモニターの日付と時間がずれている場合、自動検出やカメラの操作ができないことがあります。カメラに付属しているソフトウェアで日付と時間を合わせてください。 • 「プロトコル」が「ONVIF」のネットワークカメラ場合、カメラ側のONVIF機能が無効になっていると自動検出できません。カメラ側の設定を確認してください。
2. 自動検出したネットワークカメラのIPアドレスを変更できない	• ネットワークカメラを起動してから20分以上経過している場合、自動検出やカメラのIPアドレス設定などができないことがあります。カメラを再起動するか、手動で登録してください（「ネットワークカメラを手動で登録する」（P.13）参照）。 • パナソニック社製ネットワークカメラ以外の場合、このモニターからネットワーク設定を変更することはできません。
3. 複数チャンネルに対応しているビデオエンコーダで、カメラ1台分しか認識されない。	• 使用するチャンネル数分を手動で登録してください（「ネットワークカメラを手動で登録する」（P.13）参照）。
4. ネットワークカメラの手動登録で「適用」を選択しても通信エラーとなる	• ネットワークカメラと通信できていない場合があります。ネットワークの接続状況やカメラの登録内容を確認してください。
5. パン、チルト、ズームの操作をおこなっても、ネットワークカメラが反応しない	• ネットワークカメラがパン、チルト、ズームに対応していない場合があります。カメラの仕様を確認してください。
6. 新規ユーザーを登録できない	• 登録済みユーザーと同じユーザー名の場合は登録できません。 • 登録可能なユーザーは10名までです。すでに10名のユーザー情報を登録していないか確認してください（「2-7. ユーザー情報を設定する」（P.34）参照）。
7. ユーザーを削除できない	• ユーザーレベルが「ADMIN」のユーザーを0にすることはできません。登録済みのユーザー情報を確認してください（「2-7. ユーザー情報を設定する」（P.34）参照）。
8. ユーザー名とパスワードを忘れた	• リモコンボタンを組み合わせて押すことでユーザー名とパスワードを初期設定に戻すことができます（「2-7. ユーザー情報を設定する」（P.34）参照）。
9. カメラとの通信ができない	• ネットワークカメラの設定やモニターのシステム設定を確認してください。詳細はシステム管理者にお問い合わせください。
10. USBストレージデバイスにログデータを保存できない	• この製品は対応フォーマット（FAT32形式）のみ対応しています。
11. 設定した日付と時間が正しく表示されない	• 1週間以上主電源スイッチをオフしていたり、電源コードを電源コンセントに接続していないと、モニターの日付と時間が正確に表示されなくなります。その場合は、再度日時を設定し直してください（「2-6. モニターのシステム設定をおこなう」（P.24）参照）。

第 5 章　ご参考に

5-1. 設定項目一覧

参考

・設定項目と設定値は、カメラによって異なります。

設定項目					設定値	初期設定
簡単設定※1	簡単設定	日時設定	日付/時間　表示設定	日付表示形式	yyyy/mm/dd Mmm/dd/yyyy dd/Mmm/yyyy mm/dd/yyyy dd/mm/yyyy	yyyy/mm/dd
				時間表示形式	24時間 12時間	24時間
				タイムゾーン	GMT-12:00 GMT-11:00 GMT-10:00 GMT-09:30 GMT-09:00 GMT-08:00 GMT-07:00 GMT-06:00 GMT-05:00 GMT-04:30 GMT-04:00 GMT-03:30 GMT-03:00 GMT-02:00 GMT-01:00 GMT GMT+01:00 GMT+02:00 GMT+03:00 GMT+03:30 GMT+04:00 GMT+04:30 GMT+05:00 GMT+05:30 GMT+05:45 GMT+06:00 GMT+06:30 GMT+07:00 GMT+08:00 GMT+08:45 GMT+09:00 GMT+09:30 GMT+10:00 GMT+11:00 GMT+11:30 GMT+12:00 GMT+12:45 GMT+13:00 GMT+14:00	GMT
			日時設定	年	2010 ～ 2035	
				月	1 ～ 12	
				日	1 ～ 31 1 ～ 30 1 ～ 28 1 ～ 29	
				時	AM/PM （24時間）0 ～ 23 （12時間）1 ～ 12	
				分	0 ～ 59	

設定項目				設定値	初期設定
簡単設定※1	簡単設定	ネットワーク設定	IPアドレス設定	DHCP 手動設定	手動設定
			IPアドレス	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	192.168.0.150
			サブネットマスク	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	255.255.255.0
			ゲートウェイ	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	192.168.0.1
		カメラ自動検出	カメラ検出	Panasonic/AXIS/ONVIF	（なし）
		表示位置設定			
カメラ	自動検出	カメラ検出		Panasonic/AXIS/ONVIF	（なし）
	手動登録	カメラ名		英数字（0～24字）	（なし）
		IPアドレス		0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	（なし）
		HTTPポート		1 ～ 65535	（なし）
		プロトコル		Panasonic/AXIS/ONVIF	（なし）
		ストリーム		1 ～ 4	（なし）
		チャンネル		1 ～ 4	（なし）
		RS485 PTZ制御		オン/オフ	オフ
		ユーザー名		英数字、記号 （0～32字）	admin
		パスワード		英数字、記号 （0～32字）	12345
	機能設定※1	カメラ情報表示/時刻設定	カメラ情報表示	オン/オフ	（カメラの仕様による）
			時間表示	12時間/24時間/オフ	（カメラの仕様による）
			表示位置	左上/右上/右下/左下	（カメラの仕様による）
			モニターの時刻と同期		
		ビデオ設定（パナソニック社製ネットワークカメラの場合）	アスペクト比	カメラの撮像モード	（カメラの仕様による）
			解像度	カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			リフレッシュ間隔	0.2秒/0.33秒/0.5秒/ 1秒/2秒/3秒/4秒/5秒	（カメラの仕様による）
			配信モード	固定ビットレート/ フレームレート指定/ ベストエフォート	（カメラの仕様による）
			フレームレート	1fps/3fps/5fps/7.5fps/ 10fps/12fps/15fps/ 20fps/30fps	（カメラの仕様による）
			ビットレート（最大）	64kbps/128kbps/ 256kbps/384kbps/ 512kbps/768kbps/ 1024kbps/1536kbps/ 2048kbps/3072kbps/ 4096kbps/8192kbps/	（カメラの仕様による）
			ビットレート（最小）	64kbps/128kbps/ 256kbps/384kbps/ 512kbps/768kbps/ 1024kbps/1536kbps/ 2048kbps/3072kbps/ 4096kbps/8192kbps/	（カメラの仕様による）
			H.264画質	動き優先/標準/ 画質優先	（カメラの仕様による）
		ビデオ設定（アクシス社製ネットワークカメラの場合）	ビデオストリーム	カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			ストリームプロファイル	カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			圧縮形式	H.264（固定）	（カメラの仕様による）
			解像度	カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			フレームレート	カメラの仕様による （最大設定可能値 30fps）	（カメラの仕様による）
			回転	カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			GOP長さ	Ｉフレーム間隔 （H.264選択時のみ）	（カメラの仕様による）

設定項目					設定値	初期設定
カメラ	機能設定※1	ビデオ設定（アクシス社製ネットワークカメラの場合）	ビットレート（最大）		カメラの仕様による（最大設定可能値8192kbps）	（カメラの仕様による）
			優先度		none/framerate/quality	（カメラの仕様による）
			配信方式		ユニキャスト/マルチキャスト	ユニキャスト
			マルチキャストアドレス		224.0.0.0〜239.255.255.255	（カメラの仕様による）
			マルチキャストポート		1024〜65535	（カメラの仕様による）
			マルチキャストTTL		1以上	（カメラの仕様による）
		ビデオ設定（ONVIF Profile S対応ネットワークカメラの場合）	メディアプロファイル		EIZO_Profile/各カメラのプロファイル	（カメラの仕様による）
			エンコーダ		カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			圧縮形式		H.264/MJPEG	（カメラの仕様による）
			解像度		カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			映像品質		カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			フレームレート		1〜30	（カメラの仕様による）
			エンコード間隔		カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			ビットレート（最大）		0〜8192	（カメラの仕様による）
			GOV長さ		カメラの仕様による	（カメラの仕様による）
			H.264プロファイル		ベースライン/メイン/拡張/ハイ	（カメラの仕様による）
			配信方式		ユニキャスト/マルチキャスト	ユニキャスト
			マルチキャストアドレス		224.0.0.0〜239.255.255.255	（カメラの仕様による）
			マルチキャストポート		1024〜65535	（カメラの仕様による）
			マルチキャストTTL		1以上	（カメラの仕様による）
		プリセット設定	プリセットNo.		1 〜 256	（なし）
			明るさ			
			フォーカス			
			ズーム			
			パン/チルト			
		その他カメラ設定	パン/チルトフリップ		オン/オフ	（カメラの仕様による）
			上下反転		オン/オフ	（カメラの仕様による）
			ランプ表示		オン/オフ	（カメラの仕様による）
表示	表示位置	表示位置			1 〜 16	（現在の設定）
		カメラ名表示			オン/オフ	オフ
		シーケンス間隔			5秒〜60秒	5秒
		アスペクト比モード			フル アスペクト	フル
	Smart Functions	モード			DAY/NIGHT/オフ	DAY
		Smart Resolution			1 〜 5/オフ	3
		Smart Insight			1 〜 5/オフ	3
		Noise Reduction			オン/オフ	オン
システム	システム設定	日時設定	日付/時間　表示設定	日付表示形式	yyyy/mm/dd Mmm/dd/yyyy dd/Mmm/yyyy mm/dd/yyyy dd/mm/yyyy	yyyy/mm/dd
				時間表示形式	24時間 12時間	24時間

設定項目					設定値	初期設定
システム	システム設定	日時設定	日付/時間　表示設定	タイムゾーン	GMT-12:00 GMT-11:00 GMT-10:00 GMT-09:30 GMT-09:00 GMT-08:00 GMT-07:00 GMT-06:00 GMT-05:00 GMT-04:30 GMT-04:00 GMT-03:30 GMT-03:00 GMT-02:00 GMT-01:00 GMT GMT+01:00 GMT+02:00 GMT+03:00 GMT+03:30 GMT+04:00 GMT+04:30 GMT+05:00 GMT+05:30 GMT+05:45 GMT+06:00 GMT+06:30 GMT+07:00 GMT+08:00 GMT+08:45 GMT+09:00 GMT+09:30 GMT+10:00 GMT+11:00 GMT+11:30 GMT+12:00 GMT+12:45 GMT+13:00 GMT+14:00	GMT
			時刻設定	年	2010 ～ 2035	
				月	1 ～ 12	
				日	1 ～ 31 1 ～ 30 1 ～ 28 1 ～ 29	
				時	AM/PM （24時間）0 ～ 23 （12時間）1 ～ 12	
				分	0 ～ 59	
		サマータイム設定	サマータイム設定		オン/オフ/自動	オフ
				開始	月、週、曜日、時間	（なし）
				終了	月、週、曜日、時間	（なし）
		ネットワーク設定	ネットワーク設定	IPアドレス設定	DHCP/手動設定	手動設定
				IPアドレス	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	192.168.0.150
				サブネットマスク	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	255.255.255.0
				ゲートウェイ	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255	192.168.0.1
			DNS設定	DNS	自動/手動	手動
				プライマリーサーバーアドレス	0.0.0.0～ 255.255.255.255	（なし）
				セカンダリーサーバーアドレス	0.0.0.0～ 255.255.255.255	（なし）
			NTP設定	NTP	オン/オフ	オフ
				サーバーアドレス	英数字、記号	（なし）

設定項目					設定値	初期設定
システム	ネットワーク設定	通信設定	通信速度		100Mbps 半二重、100Mbps 全二重、1000Mbps 全二重	（現在の設定）
			通信エラー検知		オン/オフ	オフ
			Webインターフェイス		オン/オフ	オン
			Webインターフェイスポート		1～65535	80
		その他システム設定	言語		日本語/English/Deutsch	English
			クイックスタート		オン/オフ	オフ
			操作ロック		オン/オフ	オフ
			起動ロゴ		オン/オフ	オン
			電源ランプ		オン/オフ	オン
	システム設定	設定情報の移行	設定情報の保存※1			
			設定情報の読み込み※1			
		初期化				
		ソフトウェア更新				
		再起動				
		トラブルシュート	接続確認	カメラ名		
				ping		
				traceroute		
			システムログ	日付選択（GMT）		
				表示		
				USBストレージへの保存※1		
				USBストレージの取り外し※1		
	ユーザー※2	ユーザー新規登録	ユーザー名		英数字（1～16字）	（なし）
			ユーザーレベル		ADMIN/CAMERA CONTROL/LIVE	（なし）
			パスワード		英数字（1～16字）	（なし）
			パスワード（確認）		英数字（1～16字）	（なし）
		ユーザー情報変更/削除	ユーザー名		（登録済みユーザー）	（なし）
			変更後のユーザー名		英数字（1～16字）	（なし）
			変更後のユーザーレベル		ADMIN/CAMERA CONTROL/LIVE	（なし）
			変更後のパスワード		英数字（0～16字）	（なし）
			変更後のパスワード（確認）		英数字（0～16字）	（なし）
	ログ表示	日付選択（GMT）				
		表示				
		USBストレージへの保存※1				
		USBストレージの取り外し※1				

※1 モニター画面からの設定のみ可能です。Webブラウザからの設定はできません。
※2 初期設定では次のユーザー情報が登録されています。
ユーザー名：「admin」、パスワード：「admin」、ユーザーレベル：「ADMIN」

第 6 章　用語集

DNS（Domain Name Server）

www.eizo.co.jp などのアドレス名称をIPアドレスに変換するために使用されるサーバーです。

H.264

画像を圧縮する方式の1つです。映像の遠隔伝送や記録で幅広く利用されています。前後のフレーム情報から動きのある部分を予測し、フレーム間の差分情報だけをデータ化します。そのため、データ量を効率的に削減することができるため、広く普及しています。

IPアドレス

ネットワーク機器に割り振られる住所のようなもの。各ネットワーク機器に個別に割り当てられます。MACアドレスとは異なり、設置環境に応じてアドレスは変わります。

MAC（Media Access Control）アドレス

ネットワーク機器に付与された48bitの識別番号のこと。固定的に割り当てられるもので、重複することがなく、各ネットワーク機器固有の番号です。

MJPEG（Motion JPEG）

画像を圧縮する方式の一つです。映像の遠隔伝送や記録で利用されています。1フレームごとに圧縮・解凍をおこなうため、一部のフレームのデータが欠落しても、次のフレームには影響を及ぼさないため、信号品質の悪い環境などで使用されることがあります。ただし、H.264形式と比べてデータ量が増大するという欠点があります。

NTP（Network Time Protocol）

ネットワーク上のサーバーと時刻を合わせるためのプロトコルのこと。

ONVIF（Open Network Video Interface Forum）

異なるメーカーのネットワークカメラやネットワークレコーダ機器の相互接続を可能にするための標準規格です。

ユニキャスト

ネットワークの通信方式の一つで、個々のネットワーク機器が1対1で個別に通信する方式です。個々のネットワーク機器ごとに適した映像品質で配信できますが、送信機器のネットワーク負荷が高くなる欠点があります。

マルチキャスト

ネットワークの通信方式の一つで、1つのストリームを複数のネットワーク機器が受信する通信方式です。同一映像を同一品質で複数の機器が受信することにより送信機器のネットワーク負荷を軽減することができますが、マルチキャストに対応した機材選定や設定が必要となります。

ping

他のネットワーク機器との接続を確認するために使われるコマンドのこと。一般的に、pingで反応が返ってこない場合、ネットワーク経路上に問題があると判断でき、問題発生時の原因調査に使用されます。

PoE（Power over Ethernet）

イーサーネットケーブルを利用して電力を供給する技術です。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

ネットワーク上で通信をおこなうためのネットワークプロトコルの1つ。TCP/IPのプロトコルを利用することにより、様々なOS間での通信が可能になります。

traceroute

他のネットワーク機器との接続の際、どのようなルートをたどっているかを確認するために使われるコマンドのこと。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横1920個、縦1080個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1080の解像度であれば、画像は画面全体（1対1）に表示されます。

サブネットマスク

IPアドレスのうち、サブネットを識別するネットワークアドレス部を指定するための数値です。（サブネット：1つの大きなネットワークを複数のネットワークに分割して管理する場合の、分割されたネットワークを指します。）

ビットレート

ネットワーク上に流れるデータの量を表します。一般的に、bps（bit per second）という単位を使用し、1秒当たりに流れるデータのビット数を表します。

ファイアウォール

外部のネットワークから侵入されることを防ぐためのシステムです。

ポート

ネットワーク通信するための通信の窓口番号のこと。1つのネットワーク機器が複数のサービスを提供するような場合、サービスごとに個別のポート番号を割り当てることで、同時に複数のサービスを提供することができます。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
AdobeはAdobe Systems Incorporated （アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。
ONVIFはONVIF Inc. の商標です。
i-proはパナソニック株式会社の登録商標です。
AXISはAxis ABのスウェーデンおよびその他の国における登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、CuratOR、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configrator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i・Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、Screen Administrator、Screen InStyle、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
その他の各会社名、各製品名は、各社の登録商標または商標です。

ライセンス / 著作権

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

この製品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。
オープンソースソフトウェアのうちGPL（GNU GENERAL PUBLIC LICENSE）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合には、GPLの利用許諾条件に従い、当社は次のコンタクト情報宛てにコンタクトしてきた個人、団体に対し、お買い上げ後、少なくとも3年間、実費にてGPLソフトウェアに対応するソースコードを、CD-ROMなどの媒体により頒布いたします。
また、LGPL（GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE）の条件にて利用許諾されるものが含まれる場合についても、上述のGPLの場合と同様の手続きにてソースコードを頒布いたします。

コンタクト情報
http://www.eizo.co.jp/support/product/contact.html

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、この製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、この製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

この製品はSDカードスロットを本体内部に備えています。ただし、保守メンテナンス用のため、使用することはできません。

初版　2016 年 11 月
03V25999A2
(IM-FDF4627WIP)

Copyright © 2016 EIZO Corporation. All rights reserved.